

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790



このヘルプガイドは、本機に付属のスタートガイドや取扱説明書に記載していない機能や設定のしかたを説明しているマニュアルです。

はじめに

[ヘルプガイドの使いかた](#)

[ホーム画面の使いかた](#)

再生する

概要

AV機器を再生する

└ [接続したテレビやAV機器の音声や映像を再生する](#)

ラジオを聞く

└ [FMラジオを聞く](#)

└ [放送局を直接選局する（ダイレクト選局）](#)

└ [FMラジオ放送局を登録する（プリセットメモリー）](#)

└ [FM放送局の受信モードを選ぶ \[FM Mode\]](#)

[プリセットした放送局に名前をつける \[Name In\]](#)

音響効果を選ぶ

[音場（サウンドフィールド）を選ぶ](#)

[選べるサウンドフィールドとその効果](#)

[音場（サウンドフィールド）とスピーカー出力の関係一覧](#)

[低音量でもクリアでダイナミックな音を楽しむ \[Night Mode\]](#)

[自動音場補正の補正タイプを選ぶ \[Calibration Type\]](#)

[イコライザーを調節する \[Equalizer\]](#)

[原音に忠実な音を楽しむ \[Pure Direct\]](#)

[音場（サウンドフィールド）をお買い上げ時の設定に戻す](#)

BLUETOOTH対応機器の音声を再生する

[BLUETOOTH機能を使ってできること](#)

[BLUETOOTH機能をオン/オフする「BT POWER」](#)

[BLUETOOTH対応機器の音声を聞く（ペアリング操作）](#)

[対応BLUETOOTHバージョンおよびプロファイル](#)

お好みに合わせてスピーカーの設定を変える

[スピーカーのサイズを調節する \[Size\]](#)

[スピーカーのクロスオーバー周波数を設定する \[Crossover Freq\]](#)

[スピーカーレベルを調節する \[Level\]](#)

[スピーカーの距離を調節する \[Distance\]](#)

その他の機能を使う

ブラビアテレビと他機器と連動させる（“ブラビアリンク”）

[“ブラビアリンク”とは？](#)

[“ブラビアリンク”の準備をする](#)

[テレビの電源と同時にアンプと接続機器の電源も切る（電源オフ連動）「STBY.LINK」](#)

[アンプに接続したスピーカーからテレビの音声を楽しむ（システムオーディオコントロール）](#)

[接続機器のコンテンツをすぐに楽しむ（ワンタッチプレイ）](#)

[番組のジャンルに応じた音場（サウンドフィールド）に自動的に切り替える（オートジャンルセクター）](#)

[最適な音場（サウンドフィールド）を自動で選ぶ（音質モード/シーンセレクト連動）「S.F. SYNC」](#)

[オーディオ機器コントロール](#)

[テレビリモコンからのメニュー操作](#)

[スリープタイマーを使う](#)

[表示窓の明るさを調節する](#)

[スタンバイ時の消費電力を抑える](#)

[表示窓で情報を確認する](#)

[お買い上げ時の設定に戻す](#)

表示窓のメニューを使って設定する

[表示窓のメニューを使って操作する](#)

[表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

自動音場補正 「<A. CAL>」

[スピーカーの位相特性を補正する「A.P.M.」（自動位相マッチング）](#)

レベル設定 「<LEVEL>」

[各スピーカーからテストトーンを出力する「T.TONE」](#)

[接続したテレビに合わせて出力レベルを調節する「TV.OFFSET」（TV音量調整機能）](#)

スピーカー設定 「<SPKR>」

[天井の高さを設定する「CEILING.H.」](#)

[距離の測定単位を選ぶ「DIST.UNIT」](#)

入力設定 「<INPUT>」

[デジタル音声とアナログ音声を切り替える「IN MODE」](#)

[各入力の名前を変更する「NAME IN」](#)

[他の音声入力端子を使う「A. ASSIGN」](#)

音声設定 「<AUDIO>」

[音声と映像出力を同期させる「A/V SYNC」](#)

[デジタル放送の音声を選択をする「DUAL」](#)

[ダイナミックレンジを圧縮する「D. RANGE」](#)

[DTSデコーダーのモードを切り替える「NEURAL-X」](#)

[DTS:Xダイアログコントロール機能を使う「DIALOG」](#)

HDMI設定 「<HDMI>」

[HDMI機器を制御する「CTRL.HDMI」](#)

- [テレビの電源と同時にアンプと接続機器の電源も切る（電源オフ連動）「STBY.LINK」](#)
- [eARC（Enhanced Audio Return Channel）について](#)
- [eARC機能を使うための準備をする](#)
- [テレビ放送の音声をアンプで楽しむ（eARC/ARC）](#)
- [アンプの電源を入れずに機器のコンテンツを楽しむ「STBY.THRU」](#)
- [接続機器のHDMI音声信号出力を設定する「AUDIO.OUT」](#)
- [最適な音場（サウンドフィールド）を自動で選ぶ（音質モード/シーンセレクト連動）「S.F. SYNC」](#)
- [アクティブサブウーファースのレベルを設定する「SW LVL」](#)

BLUETOOTH設定「<BT>」

- [BLUETOOTHスタンバイモードを設定する「BT STBY」](#)
- [BLUETOOTHオーディオコーデックを設定する「BT AAC」](#)
- [BLUETOOTH機能をオン/オフする「BT POWER」](#)

システム設定「<SYSTEM>」

- [自動的にスタンバイ状態になるよう設定をする「AUTO.STBY」](#)
- [ソフトウェアをアップデートする「UPDATE」](#)
- [ソフトウェアのバージョンを確認する「VER. X.XXX」](#)

困ったときは

エラーメッセージ

- [PROTECT](#)
- [USB FAIL](#)

全体

- [電源が自動的に切れる](#)
- [複数のデジタル機器を接続中、再生可能な入力が見つからない](#)
- [テレビの電源を入れてもアンプの電源が入らない](#)
- [テレビの電源を切るとアンプの電源が切れる](#)
- [テレビの電源を切ってもアンプの電源が切れない](#)

テレビ音声

- [アンプにつないだスピーカーからテレビの音声が出ない](#)
- [アンプにつないだスピーカーとテレビのスピーカーの両方から音が出る](#)
- [スタンバイ状態時に映像や音声 テレビに出力されない](#)

[テレビの映像と本機につないだスピーカーからの音声がずれている](#)

[テレビ番組や録画した番組を視聴中に、音声が途切れる](#)

[サウンドフィールドが自動的に切り替わる](#)

テレビ以外の機器の音声

[どの機器を選んでも音が出ない、または音がほとんど聞こえない](#)

[特定のスピーカーから音が出ない、または音がほとんど聞こえない](#)

[特定の機器から音が出ない](#)

[左右の音のバランスが悪い、または逆転している](#)

[ドルビーアトモス再生を楽しみたい](#)

[ドルビーアトモスで再生できているか確認したい](#)

[ドルビーデジタルまたはDTSマルチチャンネルの音源が再生できない](#)

[サラウンド効果が得られない](#)

[スピーカーからテストトーンが出力されない](#)

[表示窓に表示されているスピーカーと異なるスピーカーからテストトーンが出力される](#)

[スタンバイ状態時に映像や音声がテレビに出力されない](#)

映像

[テレビに映像が表示されない](#)

[テレビ画面に4K映像が表示されない](#)

[スタンバイ状態時に映像や音声がテレビに出力されない](#)

[テレビ画面にホームメニューが表示されない](#)

[表示窓に表示が出ない](#)

チューナー

[FMステレオ放送の受信状態が悪い](#)

[放送局が受信できない](#)

BLUETOOTH機器

[ペアリングができない](#)

[BLUETOOTH接続ができない](#)

[音が飛んだり変動したりする、または接続が切れる](#)

[BLUETOOTH機器からの音声が聞こえない](#)

[ハム音またはノイズがひどい](#)

“ブラビアリンク”（HDMI機器制御）

- └ [HDMI機器制御機能が正しく働かない](#)

リモコン

- └ [リモコンで操作できない](#)

解決しないときは

- └ [お買い上げ時の設定に戻す](#)
- └ [音場（サウンドフィールド）をお買い上げ時の設定に戻す](#)
- └ [カスタマーサポートウェブサイト](#)

その他

[商標について](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

ヘルプガイドの使いかた

このヘルプガイドでは、付属のスタートガイドや取扱説明書に記載していない機能や設定のしかたを説明しています。アンプの設置や準備のしかたと、各部の名称については取扱説明書を参照してください。ヘルプガイドでは、知りたいキーワードを入力して検索することができます。画面の左上または右上にあるQをクリックし、表示されたボックスに知りたい用語を入力してください。



ご注意

- このヘルプガイドでは主にリモコンによる操作を説明しています。本体に同じ名称や類似の名称のボタンやつまみがある場合は、本体で操作することもできます。
- このアンプには、テレビ画面上に表示して操作するメニューと本体前面の表示窓に表示して操作するメニューの2種類があります。テレビ画面上のメニュー項目やパラメーターは「`[]`」、表示窓のメニュー項目は「`[]`」を付けて表します。
- 複数の用語を入力して同時に検索することはできません。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

ホーム画面の使いかた

アンプのメニューをテレビ画面に表示し、操作したい項目を選ぶことができます。

- 1 テレビの入力を、アンプをつないでいるHDMI入力に切り替える。
- 2 リモコンのHOMEを押して、テレビ画面にホームメニューを表示する。



- 3 リモコンの◀/▶をくり返し押ししてお好みのメニューを選び、⊕を押して決定する。

ホームメニューの項目

Watch、Listen：AV機器や内蔵のFMチューナーからの映像や音声を楽しむときに選びます。

- 接続したテレビやAV機器の音声や映像を再生する
- FMラジオを聞く
- BLUETOOTH対応機器の音声を聞く（ペアリング操作）

Easy Setup：かんたん設定（Easy Setup）を実行するときに選びます。本機に付属のスタートガイドおよび取扱説明書を参照してください。

Sound Effect：音響効果を楽しむときに選びます。

- 音場（サウンドフィールド）を選ぶ
- 選べるサウンドフィールドとその効果

Speaker Setting：スピーカーの設定を調節するときに選びます。
このヘルプガイドの「お好みに合わせてスピーカーの設定を変える」内にある各トピックをご覧ください。

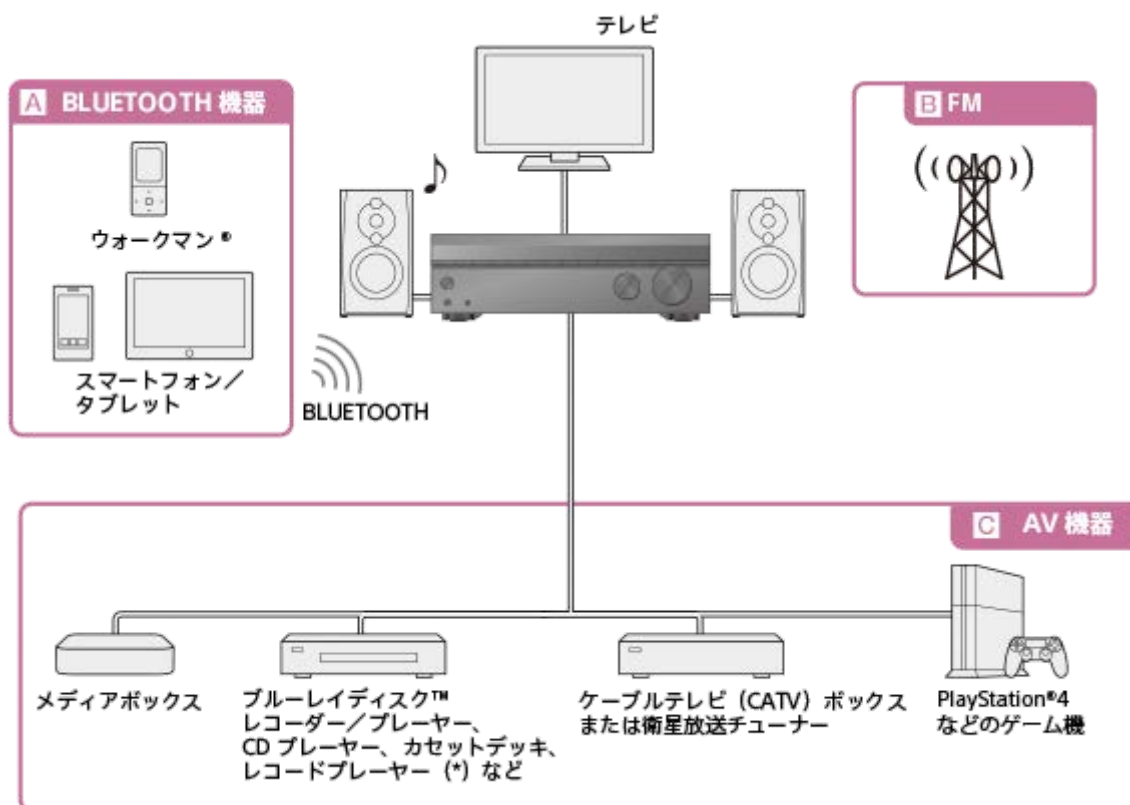
ヒント

- 映像や音声を再生中は、OPTIONSを押してオプションメニューを表示させ、関連した機能を選べます。
- 前の画面に戻るには、BACKを押してください。
- メニューを閉じるには、HOMEを押してホームメニューに戻り、もう一度HOMEを押してください。

- テレビ画面上で操作できない設定は、表示窓に表示されるメニューで調節できます。リモコンのAMP MENUを押して表示窓にメニューを表示させてください。

概要

ここでは、アンプを使用した映像や音源の楽しみかたを説明します。
例えば、下図のように複数の機器をアンプにつなぐことができます。



A) BLUETOOTH機器

ウォークマン®またはスマートフォンやタブレットの音楽コンテンツを楽しむ

ウォークマンまたはスマートフォンやタブレットに保存した音楽コンテンツなどの音源を、BLUETOOTH経由でアンプに送信して楽しむことができます。

[BLUETOOTH対応機器の音声を聞く \(ペアリング操作\)](#)

B) FM

FMラジオを聞く

内蔵のFMチューナーで、高音質のFMラジオ放送を楽しむことができます。

プリセット登録機能を使って、お好みのFMラジオの放送局を30局まで登録することができます。

[FMラジオを聞く](#)

[FMラジオ放送局を登録する \(プリセットメモリー\)](#)

C) AV機器

以下のようなAV機器の映像や音声を楽しむ

- メディアボックス
- Ultra HDブルーレイレコーダー/プレーヤー
- ブルーレイディスク™レコーダー/プレーヤー
- DVDレコーダー/プレーヤー
- CDプレーヤー
- スーパーオーディオCDプレーヤー
- MDデッキ
- カセットデッキ

- レコードプレーヤー（*）
- 衛星放送チューナー
- PlayStation®4などのゲーム機器

AV機器をアンプに接続して、映像や音声などのさまざまなコンテンツを楽しむことができます。

アンプのHDMI端子はHDCP 2.2に対応していますので、衛星放送やストリーミングサービス、Ultra HDブルーレイディスクなどの4Kコンテンツを楽しむことも可能です。

- * フォノ（PHONO）出力端子しかないレコードプレーヤーを接続する場合は、レコードプレーヤーとアンプの間にフォノイコライザー（別売）を接続する必要があります。

関連項目

- [接続したテレビやAV機器の音声や映像を再生する](#)

4-731-211-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

接続したテレビやAV機器の音声や映像を再生する

1 テレビの入力を、アンプをつないでいるHDMI入力に切り替える。

2 HOMEを押す。

テレビ画面にホームメニューが表示されます。
テレビによっては、テレビ画面にホームメニューが表示されるまでに時間がかかることがあります。



3 ホームメニューから [Watch] または [Listen] を選ぶ。

メニュー項目が表示されます。

4 視聴したい機器を選ぶ。

5 機器の電源を入れて再生を開始する。

6 ◀ +/-を押して、音量を調節する。

本体前面のMASTER VOLUMEつまみでも調節できます。

ご注意

- アンプの電源を切る前に、必ず音量を下げておいてください。次に電源を入れたときに大きな音が出力されて、スピーカーが破損する恐れがあります。

ヒント

- 本体前面のINPUT SELECTORつまみを回すか、リモコンの入力切り替え用ボタンを押しても、視聴する機器を選べます。
- 本体前面のMASTER VOLUMEつまみ、またはリモコンの◀ +/-ボタンを使うと、音量の調節速度や調節量を変えられます。音量をすばやく上げ/下げするには
 - 本体前面のMASTER VOLUMEつまみをすばやく回す。
 - リモコンのボタンを押したままにする。

音量を微調節するには

- 本体前面のMASTER VOLUMEつまみをゆっくり回す。
- リモコンのボタンを短く押す。

4-731-211-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

FMラジオを聞く

内蔵チューナーを通してFM放送を聞くことができます。以下の手順で放送局を自動的にスキャンして受信することができます。必ず事前にFMアンテナをつないでください。アンテナの接続について詳しくは、付属の取扱説明書を参照してください。

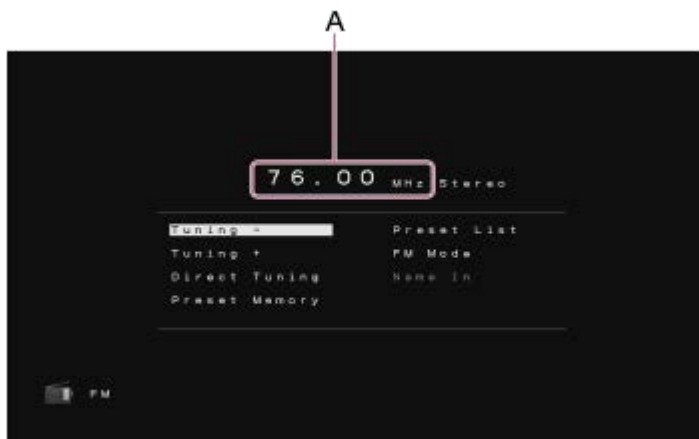
1 ホームメニューから **[Listen] - [FM]** を選ぶ。

FM画面が表示されます。

2 **[Tuning -]** または **[Tuning +]** を選ぶ。

オートスキャン（自動的に放送局を探す）が始まり、表示されている周波数が変わり始めます。受信可能な放送局が見つかったらスキャンが停止します。聞きたい放送局が受信されるまでこの手順をくり返してください。

FM画面



A : 周波数表示

現在受信している放送局の周波数を表示します。

ヒント

- リモコンまたは本体前面のTUNING+/-で選局することもできます。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

放送局を直接選局する（ダイレクト選局）

放送局の周波数を直接入力できます。

- 1 ホームメニューから [Listen] - [FM] を選ぶ。
FM画面が表示されます。
- 2 [Direct Tuning] を選ぶ。
- 3 周波数を入力する。
 1. ▲/▼を押して、表示窓に表示されている数字を変更する。
 2. ▶を押して次の桁へ移動する。
▲/▼を押して、入力位置を前後に移動できます。
- 4 手順3をくり返して周波数の最後の桁まで入力し、⊕を押す。

ご注意

- 正しい周波数が入力されていることを確認してください。合わせた周波数が無効または範囲外の場合は、[----.--MHz] が表示されます。
正しい周波数を入力しても受信できない場合は、お住まいの地域では入力した周波数が使われていない可能性があります。

ヒント

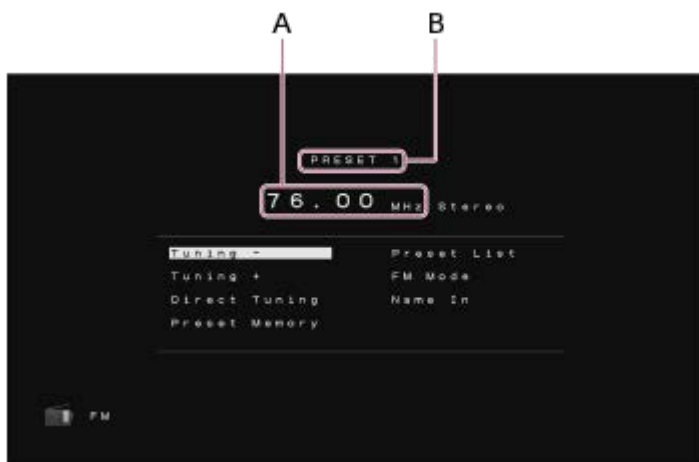
- 選局時は100 kHzステップで周波数が切り替わります。

FMラジオ放送局を登録する（プリセットメモリー）

お気に入りのFM放送局を最大30局登録できます。

- 1 ホームメニューから [Listen] - [FM] を選ぶ。
FM画面が表示されます。
- 2 プリセットしたい放送局を受信する。
- 3 [Preset Memory] を選ぶ。
- 4 ▲/▼を押してプリセット番号を選び、⊕を押す。
選んだプリセット番号で放送局が登録されます。
- 5 手順2から4をくり返して、他の放送局を登録する。
FM 01からFM 30までFM放送局を登録できます。

FMプリセット画面



A : 周波数表示

現在受信している放送局の周波数を表示します。

B : プリセット番号

選んだプリセット番号

プリセット登録した放送局を聞く

ホームメニューから [Listen] - [FM] - [Preset List] を選んでプリセットリストを表示させ、▲/▼を押してプリセット番号を選ぶ。

ヒント

- リモコンのMEMORYを押すと、現在受信している放送局をプリセット登録できます。

- リモコンのPRESET+/-を押してプリセットした放送局を受信することもできます。

関連項目

- [プリセットした放送局に名前をつける \[Name In\]](#)

4-731-211-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

FM放送局の受信モードを選ぶ [FM Mode]

FM放送局の受信モードは初期設定状態では [Stereo]（ステレオ）になっています。受信状態が悪い場合は、[Mono]（常時モノラル）にすることでノイズを減らし、聞きやすくすることができます。

1 ホームメニューから [Listen] - [FM] を選ぶ。

FM画面が表示されます。

2 [FM Mode] を選ぶ。

3 ▲/▼を押して [Mono] を選び、⊕を押す。

ご注意

- この機能は、入力ソースとして [FM] を選んでいる場合にのみ働きます。

ヒント

- この操作は、AMP MENUを押して表示窓のメニューを使って行うこともできます。

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

プリセットした放送局に名前をつける [Name In]

プリセットした放送局に最大8文字で名前を入力できます。

- 1 ホームメニューから [Listen] - [FM] を選ぶ。
FM画面が表示されます。
- 2 [Preset List] を選ぶ。
- 3 ▲/▼を押して名前をつけたいプリセット番号を選び、⊕を押す。
FMプリセット画面に戻ります。
- 4 [Name In] を選ぶ。
- 5 ▲/▼をくり返し押し文字を選び、▶を押す。
入力位置を前後に移動するには、◀/▶を押してください。
- 6 手順5をくり返して一文字ずつ選び、⊕を押す。
入力した名前が登録されます。
他のプリセットした放送局にも名前を付けるには、手順1から6をくり返してください。

名前の入力を中止するには

BACKを押す。

ヒント

- この操作は、AMP MENUを押して表示窓のメニューを使って行うこともできます。

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

音場（サウンドフィールド）を選ぶ

スピーカー接続や入力音源に合わせて、さまざまな音場（サウンドフィールド）を選べます。

- 1 ホームメニューから **[Sound Effect] - [Sound Field]** を選ぶ。
- 2 **←/→** を押してお好みの音場（サウンドフィールド）を選び、**⊕** を押す。

映画を見るときは、[Movie] 表示のあるサウンドフィールドをおすすめします。
音楽を聞くとときは、[Music] 表示のあるサウンドフィールドをおすすめします。

ご注意

- ヘッドホンをつなぐと、自動的に [Headphone(2ch)] に切り替わります。
- 入力やスピーカーパターンの設定、または音声フォーマットによっては、映画用および音楽用の音場（サウンドフィールド）が機能しない場合があります。
- 音声フォーマットによっては、入力信号を本来のサンプリング周波数よりも低いサンプリング周波数で再生することがあります。
- 音場（サウンドフィールド）の設定によっては、一部のスピーカーやアクティブサブウーファーから音声が出力されないことがあります。

ヒント

- リモコンの2CH/MULTI、MOVIE、MUSICまたはFRONT SURROUNDや、本体前面の2CH/MULTI、MOVIEまたはMUSICを押して音場（サウンドフィールド）を選ぶこともできます。

関連項目

- [選べるサウンドフィールドとその効果](#)
- [音場（サウンドフィールド）とスピーカー出力の関係一覧](#)
- [音場（サウンドフィールド）をお買い上げ時の設定に戻す](#)

選べるサウンドフィールドとその効果

ボタン	サウンドフィールド	表示窓の表示	サウンドフィールドの効果
2CH/MULTI	2ch Stereo (2chステレオ)	2CH ST.	2チャンネル音声信号を、サラウンド効果を加えずに再生できます。モノラル音声信号やマルチチャンネル音声信号は、2チャンネルに変換して出力します。 2本のフロントスピーカーのみで、バーチャルサラウンド効果を加えずに音声信号をそのまま再生したいときに適しています。 フロント左/右の2本のスピーカーからのみ音が出ます。アクティブサブウーファーからは音が出ません。
	Multi Ch Stereo (マルチチャンネルステレオ)	MULTI ST.	接続されているすべてのスピーカーから音声を出力します。2チャンネル音声信号やモノラル音声信号の場合は、サラウンド効果を加えずに、すべてのスピーカーから出力します。 マルチチャンネル音声信号の場合は、スピーカーの設定やコンテンツによって、一部のスピーカーからは音声が出力されないことがあります。
	Direct (ダイレクト)	DIRECT	すべての音声信号を、サラウンド効果を加えずに再生できます。
	A.F.D. (Auto Format Decoding)	A.F.D.	入力された音声信号に応じて、適切な処理方法でデコードし、再生できます。
MOVIE	Dolby Surround	DSUR	Dolby Surroundアップミキサーが従来型の音声コンテンツをマルチチャンネルに拡張し、ハイトスピーカーを含めた、マルチチャンネルスピーカー構成で再生できます。 これにより、従来の映画や音楽コンテンツの再生時でも高さ方向への音像を作り出せるようになるため、これまで以上に高い臨場感を得ることができます。 このアップミキサーは、ドルビープロロジックIIに代わる新しい拡張技術です。
	Neural-X	NEURAL-X	Neural:XはDTSの新しいアップミキサー技術で、ステレオ、5.1チャンネル、7.1チャンネルの映画や音楽をお使いのスピーカー構成に合わせて再配置します。 これにより、従来の映画や音楽コンテンツの再生時でも高さ方向への音像を作り出せるようになるため、これまで以上に高い臨場感を得ることができます。
	Front Surround (フロントサラウンド) (*)	FRT SUR.	ソニーオリジナルのバーチャル信号処理技術により、2本のフロントスピーカーでも豊かなサラウンド効果を再現します。
MUSIC	Audio Enhancer (オーディオエンハンサー)	ENHANCER	ポータブルオーディオ機器の音源を、よりクリアな音像で再現します。MP3やその他の圧縮された音源に適しています。

ボタン	サウンドフィールド	表示窓の表示	サウンドフィールドの効果
Headphone(2ch) (ヘッドホン (2ch))		HP 2CH	[Headphone(2ch)] を選ぶボタンはありません。ヘッドホンを接続すると自動的に選ばれます。(その他のサウンドフィールドは選べなくなります。) 2チャンネル音声信号は、サラウンド効果を加えずに再生され、モノラル音声信号やマルチチャンネル音声信号は2チャンネルに変換して出力されます。

* リモコンのFRONT SURROUNDを押して選ぶこともできます。

ご注意

- サラウンドスピーカーと2本のサラウンドバックスピーカーをつないでいるときに、[Direct] を選んで5.1チャンネルの音声を再生すると、音声フォーマットによっては7.1チャンネルのサラウンドシステムのように、サラウンドバックスピーカーからサラウンドスピーカーと同じ音声が出力されます。サラウンドスピーカーとサラウンドバックスピーカーの音声レベルは、自動的に最適なバランスに調節されます。
- [Multi Ch Stereo]、[A.F.D.] (Auto Format Decoding)、[Dolby Surround] 以外のサウンドフィールドを選んでいるときは、Dolby AtmosはDolby TrueHDまたはDolby Digital Plusとしてデコードされます。

関連項目

- [音場 \(サウンドフィールド\) を選ぶ](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

音場（サウンドフィールド）とスピーカー出力の関係一覧

選択した音場（サウンドフィールド）とスピーカー出力の関係は以下の表のとおりです。

ご注意

- 音が出ないときは、すべてのスピーカーが正しいスピーカー端子にしっかり接続されているか、スピーカーパターンの選択が正しいかを確認してください。

2chコンテンツ

ボタン	サウンドフィールド	表示窓の表示	フロントスピーカー	センタースピーカー	サラウンドスピーカー	サラウンドバックスピーカー	アクティブサブウーファ	ハイトスピーカー
2CH/MULTI	2ch Stereo (2chステレオ)	2CH ST.	◎	—	—	—	—	—
	Multi Ch Stereo (マルチチャンネルステレオ)	MULTI ST.	◎	○	○	○	○ (*1)	○
	Direct (ダイレクト) (アナログ入力時)	DIRECT	◎	—	—	—	—	—
	Direct (ダイレクト) (その他入力時)	DIRECT	◎	—	—	—	○ (*2)	—
	A.F.D. (Auto Format Decoding)	A.F.D.	◎	●	●	●	○ (*1)	● (*3)
MOVIE	Dolby Surround	DSUR	◎	○	○	○	○ (*1)	○
	Neural-X	NEURAL-X	◎	○	○	○	○ (*1)	○ (*4)
	Front Surround (フロントサラウンド)	FRT SUR.	◎	—	—	—	○ (*1)	—

ボタン	サウンドフィールド	表示窓の表示	フロントスピーカー	センタースピーカー	サラウンドスピーカー	サラウンドバックスピーカー	アクティブサブウーファ	ハイトスピーカー
MUSIC	Audio Enhancer (オーディオエンハンサー)	ENHANCER	◎	—	—	—	○ (*2)	—

—：音声が出力されません。

◎：音声が出力されます。

○：音声が出力されるかどうかはスピーカーパターンの設定および再生コンテンツによります。

●：ドルビー系ストリームとDTS系ストリームの場合は、スピーカーパターンの設定によって音声が出力されます。リニアPCM、DSD、AACの場合は音声が出力されません。

*1 アクティブサブウーファが接続されていて、アクティブサブウーファありのスピーカーパターン（「x.1」）が設定されているとき、音声が出力されます。

*2 アクティブサブウーファが接続され、アクティブサブウーファありのスピーカーパターン（「x.1」）が設定されていて、かつ [Speaker Setting] メニューの [Size] が [Small] のとき、音声が出力されます。

*3 DTS系ストリームの場合、[Easy Setup] 設定時に、[Speaker Pattern] で [5.1.2ch] を選び、かつ [Front High/Top/Dolby Speakers] で [Front High Speakers] を選ぶ必要があります。

*4 [Easy Setup] 設定時に、[Speaker Pattern] で [5.1.2ch] を選び、かつ [Front High/Top/Dolby Speakers] で [Front High Speakers] を選ぶ必要があります。

マルチチャンネルコンテンツ

ボタン	サウンドフィールド	表示窓の表示	フロントスピーカー	センタースピーカー	サラウンドスピーカー	サラウンドバックスピーカー	アクティブサブウーファ	ハイトスピーカー
2CH/MULTI	2ch Stereo (2chステレオ)	2CH ST.	◎	—	—	—	—	—
	Multi Ch Stereo (マルチチャンネルステレオ)	MULTI ST.	◎	○	○	○	○	○ (*1)
	Direct (ダイレクト)	DIRECT	◎	○	○	○	○	○ (*1)
	A.F.D. (Auto Format Decoding)	A.F.D.	◎	○	○	○	○	○ (*1)
MOVIE	Dolby Surround	DSUR	◎	○	○	○	○	○
	Neural-X	NEURAL-X	◎	○	○	○	○	○ (*2)
	Front Surround (フロントサラウンド)	FRT SUR.	◎	—	—	—	○	—

ボタン	サウンドフィールド	表示窓の表示	フロントスピーカー	センタースピーカー	サラウンドスピーカー	サラウンドバックスピーカー	アクティブサブウーファー	ハイトスピーカー
MUSIC	Audio Enhancer (オーディオエンハンサー)	ENHANCER	◎	○	○	○	○	○ (*1)

— : 音声が出力されません。

◎ : 音声が出力されます。

○ : 音声が出力されるかどうかはスピーカーパターンの設定および再生コンテンツによります。

*1 DTS系ストリームの場合、[Easy Setup] 設定時に、[Speaker Pattern] で [5.1.2ch] を選び、かつ [Front High/Top/Dolby Speakers] で [Front High Speakers] を選ぶ必要があります。


*2 [Easy Setup] 設定時に、[Speaker Pattern] で [5.1.2ch] を選び、かつ [Front High/Top/Dolby Speakers] で [Front High Speakers] を選ぶ必要があります。

関連項目

- [音場 \(サウンドフィールド\) を選ぶ](#)

低音量でもクリアでダイナミックな音を楽しむ [Night Mode]

小さな音量でも映画館のような環境を作り出す機能です（ナイトモード機能）。深夜に映画を見る時などに、小さな音量でも会話をはっきりと聞き取れます。この機能は、音場（サウンドフィールド）が選ばれている場合でも使用できます。

- 1 ホームメニューから [Sound Effect] - [Night Mode] を選ぶ。
- 2 [On] を選び、を押す。

ご注意

- [Direct] が選ばれていて、アナログ入力を選択しているときは、この機能は働きません。

ヒント

- 本体前面やリモコンのNIGHT MODEでも、ナイトモード機能のオン/オフが設定できます。
- ナイトモードが有効になると、低域、高域、エフェクトレベルが上がり、「D. RANGE」が自動的に「COMP. ON」に設定されます。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

自動音場補正の補正タイプを選ぶ [Calibration Type]

自動音場補正を実行して設定を保存すると、補正タイプを選べます。
自動音場補正について詳しくは、付属の取扱説明書を参照してください。

1 ホームメニューから [Sound Effect] - [Calibration Type] を選ぶ。

2 ▲/▼を押して好みの設定を選ぶ。

- **Full Flat** : 各スピーカーの周波数特性を平らにします。
- **Engineering** : 「ソニー基準のリスニングルーム」の周波数特性にします。
- **Front Ref.** : すべてのスピーカーの特性をフロントスピーカーの特性に合わせます。
- **Off**

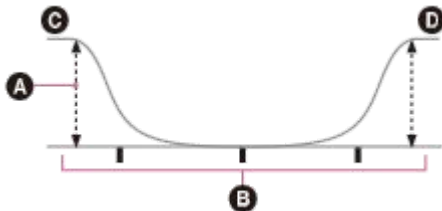
ご注意

- 以下の場合、この機能は働きません。
 - [Direct] が選ばれていて、アナログ入力を選択しているとき。
 - ヘッドホンをつないでいるとき。
- 音声フォーマットによっては、入力信号を本来のサンプリング周波数よりも低いサンプリング周波数で再生することがあります。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

イコライザーを調節する [Equalizer]

フロント、センター、サラウンド/サラウンドバック、ハイトスピーカ-の低域/高域のレベル (A) を調節できます。



- A レベル (dB)
- B 周波数 (Hz)
- C 低域
- D 高域

- 1 ホームメニューから [Sound Effect] - [Equalizer] を選ぶ。
- 2 $\blacktriangle/\blacktriangledown$ を押して、レベルを調節したいスピーカ-を選ぶ。
- 3 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ を押して [Bass] または [Treble] を選び、 \oplus を押す。
- 4 $\blacktriangle/\blacktriangledown$ を押してレベルを調節し、 \oplus を押す。

ご注意

- 以下の場合、この機能は働きません。
 - [Direct] が選ばれていて、アナログ入力を選択しているとき。
 - [Pure Direct] が [On] に設定されているとき。
- 音声フォーマットによっては、入力信号を本来のサンプリング周波数よりも低いサンプリング周波数で再生することがあります。
- [Bass] および [Treble] の周波数は固定です。

原音に忠実な音を楽しむ [Pure Direct]

ピュアダイレクト機能を使うと、すべての入力で原音により忠実な音を楽しめます。ピュアダイレクト機能が有効になっているときは、音質に影響を及ぼすノイズを抑えるために、表示窓は消灯します。

1 ホームメニューから [Sound Effect] - [Pure Direct] を選ぶ。

2 [On] を選ぶ。

[On] に設定されている間は、表示窓が消灯し、PURE DIRECTランプがオレンジ色に点灯します。

ピュアダイレクトを解除するには

以下のいずれかの操作を行うと、ピュアダイレクト機能は解除されます。

- リモコンまたは本体前面のPURE DIRECTを押す。
- 手順2で [Off] を選ぶ。
- 音場（サウンドフィールド）を変える。
- テレビのシーン設定を変える（シーンセレクト）。
- [Equalizer]、[Night Mode] または「D. RANGE」の設定を変える。

ご注意

- [Pure Direct] が [On] のときは、[Equalizer]、[Night Mode] または「D. RANGE」の設定を変更しても反映されません。変更した設定は、[Pure Direct] を [Off] に切り替えると有効になります。

ヒント

- リモコンまたは本体前面のPURE DIRECTを押して操作することもできます。

関連項目

- [音場（サウンドフィールド）を選ぶ](#)
- [最適な音場（サウンドフィールド）を自動で選ぶ（音質モード／シーンセレクト連動）「S.F. SYNC」](#)
- [ダイナミックレンジを圧縮する「D. RANGE」](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

音場（サウンドフィールド）をお買い上げ時の設定に戻す

以下の操作は、必ず本体のボタンを使って行ってください。

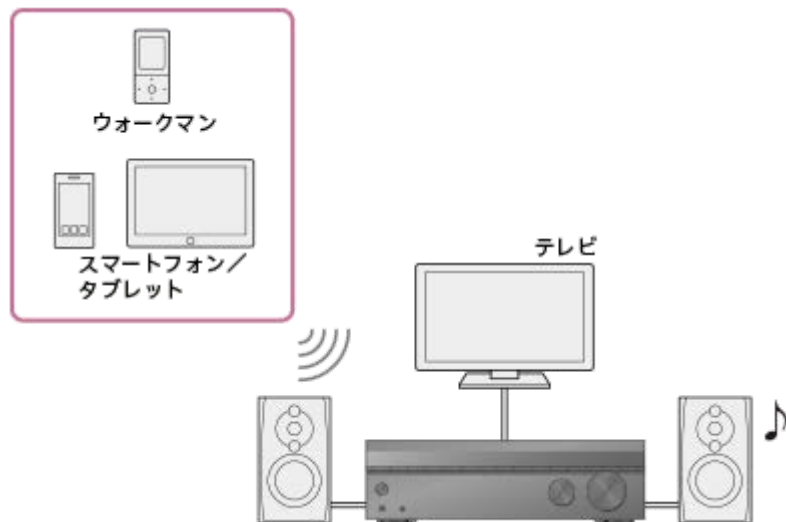
1 電源を切る。

2 MUSICを押しながら （電源）を押す。

「S.F. CLEAR」が表示窓に表示され、すべての音場（サウンドフィールド）が初期設定状態に戻ります。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

BLUETOOTH機能を使ってできること



BLUETOOTH機器の音楽コンテンツをアンプに送信して聞く

BLUETOOTH機能に対応したウォークマンあるいはスマートフォンやタブレットの音楽コンテンツを、アンプに送信して聞くことができます。

BLUETOOTH対応機器の音声を聞く（ペアリング操作）

本機が対応するBLUETOOTHのバージョンとプロファイルについては、「[対応BLUETOOTHバージョンおよびプロファイル](#)」をご覧ください。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

BLUETOOTH機能をオン/オフする「BT POWER」

アンプのBLUETOOTH機能をオン/オフできます。
以下の操作は、表示窓のメニューを使って行ってください。

- 1 AMP MENUを押す。
- 2 表示窓の「<BT>」メニューから「BT POWER」を選ぶ。
- 3 「BT ON」または「BT OFF」を選ぶ。

ご注意

- 入力ソースとして [BT] (BLUETOOTH機器) を選んでいるときは、この機能は設定できません (表示窓の「BT POWER」の表示が暗くなります)。

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

BLUETOOTH対応機器の音声を聞く（ペアリング操作）

BLUETOOTH機器では、あらかじめワイヤレス接続する機器同士を登録しておく必要があります。この登録のことを「ペアリング」といいます。一度ペアリングをすれば、同じBLUETOOTH機器に対してペアリングは不要です。

1 BLUETOOTH機器をアンプから1メートル以内の場所に置く。

2 リモコンのBLUETOOTH PAIRINGを押して、アンプをペアリングモードにする。

表示窓に「PAIRING」が表示され、本体前面のBLUETOOTHランプがすばやく点滅を始めます。

3 BLUETOOTH機器でペアリングを行い、アンプを検出する。

手順2が完了してから5分以内にこの手順を行わないと、ペアリングモードが解除されます。ペアリングモードが解除された場合は、もう一度手順2をくり返してください。

詳しくは、BLUETOOTH機器の取扱説明書を参照してください。

BLUETOOTH機器の種類によっては、検出された機器のリストがBLUETOOTH機器の画面に表示されます。本機は「STR-DH790」として表示されます。

4 BLUETOOTH機器の画面で「STR-DH790」を選ぶ。

「STR-DH790」が表示されない場合は、手順1からやり直してください。

5 接続が完了し、BLUETOOTHランプが点滅から点灯に変わったことを確認する。

接続された機器の名前が表示窓に表示されます。

6 BLUETOOTH機器で再生を開始する。

7 音量を調節する。

まずBLUETOOTH機器の音量を調節し、音量がまだ小さすぎる場合は、アンプ側で音量を調節してください。

ペアリングモードを解除するには

[BT] 以外の入力を選ぶ。

ご注意

- お使いのBLUETOOTH機器がAVRCPプロファイルに対応していない場合は、アンプで再生などの操作はできません。
- 手順5でBLUETOOTH機器の画面でパスキーの入力が求められたら、[0000]を入力してください。パスキーは、「パスコード」、「PINコード」、「PINナンバー」、「パスワード」などと呼ばれる場合があります。
- 最大10台のBLUETOOTH機器とペアリングできます。11台目のBLUETOOTH機器をペアリングすると、最も接続履歴の古い機器のペアリング情報が、新しくペアリングした機器のペアリング情報と置き替わります。

ヒント

- 本体前面のBLUETOOTHを押してアンプをペアリングモードにすることもできます。

- BLUETOOTH機器の種類によっては、BLUETOOTH機器の操作ボタンでも音量を調節できます。
- DISPLAYをくり返し押して、BLUETOOTH機器の情報を確認できます。
DISPLAYを押すたび、表示窓の表示は次のとおり切り替わります。
BLUETOOTH - BLUETOOTH機器名 - BLUETOOTH機器アドレス - 最近適用したサウンドフィールド - 音量レベル

関連項目

- [BLUETOOTHスタンバイモードを設定する「BT STBY」](#)
- [BLUETOOTHオーディオコーデックを設定する「BT AAC」](#)

4-731-211-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

対応BLUETOOTHバージョンおよびプロファイル

「プロファイル」は各種BLUETOOTH製品の特性ごとに機能を標準化したものです。本機は、以下のBLUETOOTHバージョンおよびプロファイルに対応しています。

- 対応BLUETOOTHバージョン： BLUETOOTH標準規格Ver. 4.2準拠
- 対応BLUETOOTHプロファイル：
 - A2DP 1.2 (Advanced Audio Distribution Profile)：高音質な音声／音楽コンテンツを受信する。
 - AVRCP 1.6 (Audio Video Remote Control Profile)：一時停止、停止、再生、音量調節など、オーディオ／映像機器を操作する。

対応するBLUETOOTH機器の最新の情報については、「[カスタマーサポートウェブサイト](#)」に記載のウェブサイトをご確認ください。

ご注意

- BLUETOOTH機器の仕様によって、機能に差が生じる場合があります。
- BLUETOOTHの無線接続では、BLUETOOTH機器とアンプとの間で音声データや操作のための信号を送受信して処理を行うため、BLUETOOTH機器本体で再生する場合とは異なり、操作に対する反応が遅れたり、再生開始までに遅延が生じることがあります。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

スピーカーのサイズを調節する [Size]

各スピーカー（フロント、センター、サラウンド、ハイト）のサイズを調節できます。

- 1 ホームメニューから [Speaker Setting] を選ぶ。
- 2 ▼を押してから、◀/▶をくり返し押して、[Size] を選ぶ。
- 3 ▲/▼を押して、サイズを調節したいスピーカーを選び、⊕を押す。
- 4 ▲/▼を押して、お好みのサイズを選び、⊕を押す。
 - **Large**：低音を効果的に再生する大きなスピーカーをつなぐ場合は、[Large] を選びます。通常は [Large] を選びます。
 - **Small**：マルチチャンネルサラウンド音声を出力している場合に、音声が歪んだり、サラウンド効果が不十分に感じるときは、[Small] を選びます。低音リダイレクト回路を有効にし、各チャンネルの低音をアクティブサブウーファーまたは [Large] に設定した他のスピーカーから出力します。

ご注意

- ヘッドホンをつないでいるときは、[Size] の調節はできません。

ヒント

- サラウンドバックスピーカーには、サラウンドスピーカーと同じ設定が適用されます。
- フロントスピーカーの設定を [Small] にすると、センター、サラウンド、サラウンドバック/ハイトスピーカーも自動的に [Small] に設定されます。
- アクティブサブウーファーを使用しない場合は、フロントスピーカーは自動的に [Large] に設定されます。
- 表示窓の「<SPKR>」メニューから各スピーカーのサイズを調節することもできます。

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

スピーカーのクロスオーバー周波数を設定する [Crossover Freq]

自動音場補正を行うと、測定結果に応じてクロスオーバー周波数が各スピーカーに設定されます。 [Speaker Setting] メニューで [Small] と表示されているスピーカーに対しては、以下の手順で低音域のクロスオーバー周波数を手動で設定することができます。

- 1 ホームメニューから [Speaker Setting] を選ぶ。
- 2 ↓を押してから、←/→をくり返し押して、 [Crossover Freq] を選ぶ。
- 3 ↑/↓を押して、クロスオーバー周波数を調節したいスピーカーを選び、⊕を押す。
- 4 ↑/↓を押して、クロスオーバー周波数を設定し、⊕を押す。

ご注意

- ヘッドホンをつないでいるときは、 [Crossover Freq] の設定はできません。
- 自動音場補正を行った結果、サイズが [Large] と判定されたスピーカーにはクロスオーバー周波数は設定されません。また、上記の操作で [Crossover Freq] の設定もできません。

ヒント

- サラウンドバックスピーカーには、サラウンドスピーカーと同じ設定が適用されます。
- 表示窓の「<SPKR>」メニューからスピーカーのクロスオーバー周波数を設定することもできます。

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

スピーカーレベルを調節する [Level]

各スピーカー（フロント左/右、センター、アクティブサブウーファー、サラウンド左/右、サラウンドバック左/右、ハイト左/右）のレベルを調節できます。

- 1 ホームメニューから [Speaker Setting] を選ぶ。
- 2 ▼を押してから、◀/▶をくり返し押して、[Level] を選ぶ。
- 3 ▲/▼を押して、スピーカーレベルを調節したいスピーカーを選び、⊕を押す。
- 4 ▲/▼を押して、スピーカーレベルを調節し、⊕を押す。

ご注意

- サウンドフィールドに [2ch Stereo] を選んでいるときは、アクティブサブウーファーから音声が出力されません。
- サウンドフィールドに [Audio Enhancer] が選ばれていて、[Speaker Setting] メニューの [Size] ですべてのスピーカーが [Large] に設定されている場合は、アクティブサブウーファーから音声が出力されません。ただし以下の場合には、アクティブサブウーファーから音声が出力されます。
 - デジタル入力信号にLFE信号が含まれている。
 - フロントまたはサラウンドスピーカーの [Size] が [Small] に設定されている。
- ヘッドホンをつないでいるときは、[Front Left] と [Front Right] の [Level] 以外は調節できません。

ヒント

- 表示窓の「<LEVEL>」メニューから、各スピーカーのスピーカーレベルを調節することもできます。

関連項目

- [音場（サウンドフィールド）とスピーカー出力の関係一覧](#)
- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

スピーカーの距離を調節する [Distance]

視聴位置から各スピーカー（フロント左/右、センター、アクティブサブウーファー、サラウンド左/右、サラウンドバック左/右、ハイト左/右）までの距離を調節できます。

- 1 ホームメニューから [Speaker Setting] を選ぶ。
- 2 ▼を押してから、◀/▶をくり返し押して、[Distance] を選ぶ。
- 3 ▲/▼を押して、視聴位置からの距離を調節したいスピーカーを選び、⊕を押す。
- 4 ▲/▼を押して、距離を調節し、⊕を押す。

ご注意

- スピーカーパターンの設定によっては、調節できないパラメーターがあります。
- ヘッドホンをつないでいるときは、[Distance] の調節はできません。

ヒント

- 表示窓の「<SPKR>」メニューから各スピーカーの距離を調節することもできます。
- 距離の測定単位は「METER」か「FEET」を選ぶことができます。

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)
- [距離の測定単位を選ぶ「DIST.UNIT」](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

“ブラビアリンク”とは？

“ブラビアリンク”はHDMI機器制御（*1）機能をソニーが独自に拡張した機能です。“ブラビアリンク”対応のテレビやブルーレイディスクレコーダーなどの機器をHDMIケーブル（*2）（別売）で接続すると、テレビのリモコンひとつで機器の操作ができます。

“ブラビアリンク”を活用すると、以下の機能が使えます。

- テレビの電源と同時にアンプと接続機器の電源も切る（電源オフ連動）「STBY.LINK」
- アンプに接続したスピーカーからテレビの音声を楽しむ（システムオーディオコントロール）
- テレビ放送の音声をアンプで楽しむ（eARC/ARC）
- 接続機器のコンテンツをすぐに楽しむ（ワンタッチプレイ）
- テレビリモコンからのメニュー操作
- アンプの電源を入れずに機器のコンテンツを楽しむ「STBY.THRU」
- 番組のジャンルに応じた音場（サウンドフィールド）に自動的に切り替える（オートジャンルセレクター）
- 最適な音場（サウンドフィールド）を自動で選ぶ（音質モード/シーンセレクト連動）「S.F. SYNC」
- オーディオ機器コントロール

*1 HDMI機器制御は、CEC（Consumer Electronics Control）で使用されている、HDMI（High-Definition Multimedia Interface）のための相互制御機能の規格です。

*2 18 Gbpsに対応したプレミアムハイスピードHDMIケーブル（イーサネット対応）のご使用をおすすめします。

ご注意

- HDMI機器制御機能が搭載されたソニー製以外の機器でも電源オフ連動、システムオーディオコントロール、ワンタッチプレイ、テレビリモコンからのメニュー操作が使用できる場合がありますが、動作を保証するものではありません。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

“ブラビアリンク”の準備をする

“ブラビアリンク”を使うために、HDMI機器制御機能を有効にします。アンプおよび接続機器のHDMI機器制御機能を個別に有効にする必要があります。

以下の操作は、表示窓のメニューを使って行ってください。

- 1 AMP MENUを押す。
- 2 表示窓の「<HDMI>」メニューから「CTRL.HDMI」を選ぶ。
- 3 「CTRL ON」を選ぶ。
HDMI機器制御機能が有効になります。
- 4 もう一度AMP MENUを押して、メニューを閉じる。
- 5 テレビのリモコンでアンプが接続されているHDMI入力を選択して、テレビ画面にテレビの設定メニューを表示する。
- 6 テレビのHDMI機器制御機能を有効にする。
テレビの設定については、テレビの取扱説明書を参照してください。
- 7 アンプに接続した機器のHDMI機器制御機能を有効にする。
接続した機器の設定については、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。

ご注意

- HDMIケーブルを抜いたり接続を変えたりした場合は、もう一度上記の操作を行ってください。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

テレビの電源と同時にアンプと接続機器の電源も切る（電源オフ連動）「STBY.LINK」

テレビの電源を切ると、アンプとアンプのHDMI端子に接続された機器の電源も連動して切れます。

以下の操作は、表示窓のメニューを使って行ってください。

- 1 AMP MENUを押す。
- 2 表示窓の「<HDMI>」メニューから「STBY.LINK」を選ぶ。
- 3 お好みの設定を選ぶ。
 - **AUTO**：アンプの入力が [BD/DVD]、[GAME]、[SAT/CATV]、[MEDIA BOX] または [TV] のとき、テレビの電源を切ると、アンプの電源も連動して切れます。
 - **ON**：アンプの入力にかかわらず、テレビの電源を切ると、アンプの電源も連動して切れます。
 - **OFF**：アンプの入力にかかわらず、テレビの電源を切っても、アンプの電源は連動しません。

ご注意

- 機器の状態によっては、接続された機器の電源が切れない場合があります。
- 電源オフ連動はソニー製以外の機器でも使える場合がありますが、動作を保証するものではありません。

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

アンプに接続したスピーカーからテレビの音声を楽しむ（システムオーディオコントロール）

テレビを視聴しているときにアンプの電源を入れると、テレビの音声は自動的にアンプに接続されたスピーカーから出力されます。テレビのリモコンでアンプの音量を調節できます。

テレビの電源を入れると、アンプも自動的に電源が入り、テレビの音声はアンプに接続されたスピーカーから出力されます。

テレビのメニューからも操作できます。詳しくは、テレビの取扱説明書を参照してください。

ご注意

- テレビによっては、アンプの音量の数字がテレビ画面に表示されます。テレビ画面に表示された数字は表示窓の数字と異なる場合があります。
- システムオーディオコントロールはソニー製以外の機器でも使える場合がありますが、動作を保証するものではありません。
- テレビの設定によっては、システムオーディオコントロールが使えない場合があります。詳しくは、テレビの取扱説明書を参照してください。
- テレビによっては、前回テレビを見たときに音声 テレビのスピーカーから出力されていた場合は、テレビの電源を入れてもアンプが連動せず、電源が入らないことがあります。
- お使いのテレビがシステムオーディオコントロールに対応していない場合、AMP MENUを押して、表示窓の「<HDMI>」 - 「AUDIO.OUT」を「TV+AMP」または「AMP」に設定してください。
- 表示窓の「<HDMI>」メニューの「CTRL.HDMI」が「CTRL ON」に設定されていると、テレビのスピーカー出力設定に応じて「<HDMI>」メニューの「AUDIO.OUT」は自動的に設定されます。

関連項目

- [接続機器のHDMI音声信号出力を設定する「AUDIO.OUT」](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

接続機器のコンテンツをすぐに楽しむ（ワンタッチプレイ）

アンプに接続された機器（ブルーレイディスクレコーダー、PlayStation®4 など）のコンテンツを再生すると、自動的にアンプとテレビの電源が入り、アンプの入力は再生した機器の入力に切り替わり、音声はアンプに接続したスピーカーから出力されます。

ご注意

- 表示窓の「<HDMI>」メニューの「STBY.THRU」が「AUTO」または「ON」に設定されていて、かつ、前回テレビを見たときに、音声テレビのスピーカーから出力されていた場合は、他機器のコンテンツを再生してもアンプの電源は入らずに、テレビから音声と映像が出力される場合があります。
- テレビによっては、再生途中のコンテンツの開始部分が正しく再生されない場合があります。
- ワンタッチプレイはソニー製以外の機器でも使える場合がありますが、動作を保証するものではありません。

関連項目

- [アンプの電源を入れずに機器のコンテンツを楽しむ「STBY.THRU」](#)

番組のジャンルに応じた音場（サウンドフィールド）に自動的に切り替える（オートジャンルセレクター）

オートジャンルセレクターは、視聴中のデジタル放送の番組情報（EPG 情報）を検出し、アンプのサウンドフィールドをその番組のジャンルに合わせて自動的に切り替えます。最適なサウンド設定で番組を視聴できます。この機能は、テレビとアンプに接続された機器がオートジャンルセレクターに対応している場合に使用できます。詳しくは、テレビや機器の取扱説明書を参照してください。

1 表示窓の「<HDMI>」メニューから「S.F. SYNC」を選ぶ。

- **ON**：デジタル放送のテレビ番組のジャンル、またはテレビの音質モード/シーンセレクトの設定に応じて、サウンドフィールドが自動的に切り替わります。
- **OFF**：本体前面またはリモコンの2CH/MULTI、MOVIE、MUSICボタンで選んだサウンドフィールドで、音声を出力します。

番組情報対応一覧（番組情報（EPG情報））：オートジャンルセレクターで切り替わるサウンドフィールド

- ニュース/報道： Multi Ch Stereo (MULTI ST.)
- スポーツ： Dolby Surround (DSUR)
- 情報/ワイドショー： Multi Ch Stereo (MULTI ST.)
- ドラマ： Multi Ch Stereo (MULTI ST.)
- ミュージック： Dolby Surround (DSUR)
- パラエディ： Multi Ch Stereo (MULTI ST.)
- 映画： Dolby Surround (DSUR)
- アニメ/特撮： Multi Ch Stereo (MULTI ST.)
- ドキュメンタリー： Multi Ch Stereo (MULTI ST.)
- 劇場/公演： Dolby Surround (DSUR)
- 趣味/教育： Multi Ch Stereo (MULTI ST.)
- 福祉： Multi Ch Stereo (MULTI ST.)
- その他： Multi Ch Stereo (MULTI ST.)
- スポーツ (CS)： Dolby Surround (DSUR)
- 洋画 (CS)： Dolby Surround (DSUR)
- 邦画 (CS)： Dolby Surround (DSUR)

ご注意

- 番組情報（EPG情報）に応じてサウンドフィールドが切り替わるとき、音が途切れることがあります。
- テレビの音質モード/シーンセレクトの設定が自動モードではない場合、その設定に応じたサウンドフィールドが選択されます。その場合、番組情報（EPG情報）に応じた自動切り替えは行いません。自動モードの名称はテレビによって異なります。詳しくは、テレビの取扱説明書を参照してください。
- オートジャンルセレクターはソニー独自の機能です。ソニー製以外の機器では使えません。

関連項目

- [最適な音場（サウンドフィールド）を自動で選ぶ（音質モード/シーンセレクト連動）「S.F. SYNC」](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

最適な音場（サウンドフィールド）を自動で選ぶ（音質モード／シーンセレクト連動） 「S.F. SYNC」

テレビの音質モード／シーンセレクトの設定に応じて、アンプの音場（サウンドフィールド）を自動的に切り替えます。

詳しくは、テレビの取扱説明書を参照してください。以下の操作は、表示窓のメニューを使って行ってください。

- 1 AMP MENUを押す。
- 2 表示窓の「<HDMI>」メニューから「S.F. SYNC」を選ぶ。
- 3 お好みの設定を選ぶ。
 - **ON**：デジタル放送のテレビ番組のジャンル、またはテレビの音質モード／シーンセレクトの設定に応じて、サウンドフィールドが自動的に切り替わります。
 - **OFF**：選択したサウンドフィールドで、音声を出力します。

音質モード／シーンセレクトとアンプのサウンドフィールドは以下のように切り替わります。

- シネマ：Dolby Surround (DSUR)
- スポーツ：Dolby Surround (DSUR)
- ミュージック：Dolby Surround (DSUR)
- アニメ：Dolby Surround (DSUR)
- フォト：Multi Ch Stereo (MULTI ST.)
- ゲーム：Dolby Surround (DSUR)
- グラフィックス：Multi Ch Stereo (MULTI ST.)
- ニュース：Multi Ch Stereo (MULTI ST.)
- スタンダード：Multi Ch Stereo (MULTI ST.)

ご注意

- お使いのテレビのシーンセレクトや音質モードの設定に応じてサウンドフィールドが切り替わるとき、音が途切れることがあります。
- テレビの音質モード／シーンセレクトが自動モードの場合、サウンドフィールドは番組情報（EPG情報）に応じて自動的に切り替わります。自動モードの名称はテレビによって異なります。詳しくは、テレビの取扱説明書を参照してください。
- 音質モード／シーンセレクト連動はソニー独自の機能です。ソニー製以外の機器では使えません。

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)
- [番組のジャンルに応じた音場（サウンドフィールド）に自動的に切り替える（オートジャンルセクター）](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

オーディオ機器コントロール

テレビのアプリからオーディオ機器コントロールアプリを選び、アプリを使ってアンプの設定、サウンドフィールド、入力切り替えなどができます。

この機能はテレビがオーディオ機器コントロールアプリに対応していて、テレビをインターネットに接続している場合に使えます。詳しくは、テレビの取扱説明書を参照してください。

ご注意

- オーディオ機器コントロールはソニー独自の機能です。ソニー製以外の機器では使えません。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

テレビリモコンからのメニュー操作

テレビのリンクメニューからアンプを選択して、アンプを操作することができます。この機能はテレビがリンクメニューに対応している場合にのみ使えます。詳しくは、テレビの取扱説明書を参照してください。

ご注意

- テレビのリンクメニューで、アンプは [チューナー] としてテレビに認識されます。
- テレビによっては、一部の操作が行えないことがあります。
- テレビリモコンからのメニュー操作はソニー製以外の機器でも使える場合がありますが、動作を保証するものではありません。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

スリープタイマーを使う

指定した時間にアンプの電源が切れるよう設定できます。（最大2時間）


1 SLEEPを押す。

SLEEPを押すたびに表示窓の表示は次のとおり切り替わります。

「0-30-00」 - 「1-00-00」 - 「1-30-00」 - 「2-00-00」 - 「OFF」

スリープタイマーを使用中は、本体前面の表示窓に「SLEEP」が点灯します。

ヒント

- 電源が切れるまでの残り時間は、SLEEPを押すと確認できます。残り時間は表示窓に表示されます。
- スリープタイマーの使用中に （電源）を押すと、スリープタイマーは解除されます。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

表示窓の明るさを調節する

表示窓の明るさを3段階で調節できます。

1 DIMMERを押す。

DIMMERを押すたびに表示窓の表示は次のとおり切り替わります。
「BRIGHT」 - 「DARK」 - 表示なし

ヒント

- 本体前面のDIMMERボタンでも選べます。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

スタンバイ時の消費電力を抑える

AMP MENUを押して、本体の表示窓で以下のとおり設定すると、スタンバイ時の消費電力を抑えられます。

- 「<HDMI>」 - 「CTRL.HDMI」を「CTRL OFF」に設定する。
- 「<HDMI>」 - 「STBY.THRU」を「OFF」に設定する。
- 「<BT>」 - 「BT STBY」を「STBY OFF」に設定する。

関連項目

- [HDMI機器を制御する「CTRL.HDMI」](#)
- [アンプの電源を入れずに機器のコンテンツを楽しむ「STBY.THRU」](#)
- [BLUETOOTHスタンバイモードを設定する「BT STBY」](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

表示窓で情報を確認する

表示窓で、音場（サウンドフィールド）などさまざまな情報を確認できます。

1 情報を確認したい入力を選ぶ。

2 本体前面のDISPLAYをくり返し押す。

DISPLAYを押すたびに表示窓の表示は次のとおり切り替わります。

選択した入力（*1） - 最近適用したサウンドフィールド（*2） - 音量レベル - ストリーム情報（*3） - 入力のインデックス名（*4）

FMラジオ聴取時

プリセット放送局名（*4） - 周波数とプリセット番号（*5） - 最近適用したサウンドフィールド（*2） - 音量レベル

BLUETOOTH機器の音源を再生しているとき

BLUETOOTH - BLUETOOTH機器名 - BLUETOOTH機器アドレス - 最近適用したサウンドフィールド - 音量レベル

- *1 「<INPUT>」 - 「IN MODE」が「ANALOG」に設定されている場合は、選んだ機能が表示されます。
- *2 「Pure Direct」が「On」になっているときは、サウンドフィールドが表示されるかわりに「PURE」が表示されます。
- *3 ストリーム情報は表示されない場合があります。
- *4 インデックス名またはプリセット放送局名は、選んだ入力や放送局に名前を付けた場合のみ表示されます。空白スペースのみが入力された場合、またはインデックス名やプリセット放送局名が入力名と同じ場合は、インデックス名またはプリセット放送局名は表示されません。
- *5 プリセット番号はプリセットメモリーにその周波数が登録されている場合のみ表示されます。


ご注意

- 言語によっては、文字やマークが表示されないことがあります。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

お買い上げ時の設定に戻す

以下の手順に従って、記憶させたすべての設定を消去してお買い上げ時の設定に戻すことができます。
この操作は、必ず本体のボタンを使って行ってください。

- 1 電源を切る。
- 2 本体前面の  (電源) を5秒間押したままにする。
表示窓にしばらく「CLEARING」が点滅したあと、表示が「CLEARED *」に変わります。

ご注意

- メモリーが完全に消去されるのに数分かかることがあります。表示窓に「CLEARED *」が表示されるまで、電源を切らないでください。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

表示窓のメニューを使って操作する

テレビ画面の表示だけでなく、アンプの表示窓を使って操作することもできます。

- 1 **AMP MENUを押す。**
表示窓にメニューが表示されます。
- 2 **↑/↓をくり返し押ししてメニューを選び、⊕を押す。**
- 3 **↑/↓をくり返し押しして設定項目を選び、⊕を押す。**
- 4 **↑/↓をくり返し押しして好みの設定を選び、⊕を押す。**

前の表示に戻るには

←またはBACKを押す。

メニューを閉じるには

AMP MENUを押す。

ご注意

- 設定項目が表示窓で暗く表示されることがあります。これは、選んだ項目が使用できない、または固定および変更不可であることを意味します。

関連項目

- [表示窓で情報を確認する](#)
- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

表示窓のメニューを使ってできる設定一覧

AMP MENUを押して表示窓に表示されるメニューを使って設定できる項目は次のとおりです。

一部の設定は、テレビ画面に表示されるメニューを使って行うこともできます。

自動音場補正設定「<A.CAL>」

- **自動音場補正開始「START」**
自動音場補正は [Easy Setup] の過程で実行できます。 [Easy Setup] について詳しくは取扱説明書を参照してください。
- **自動音場補正の種類「CAL TYPE」** (*1)
この設定は、テレビ画面に表示されるメニューを使って説明しています。
「[自動音場補正の補正タイプを選ぶ \[Calibration Type\]](#)」をご覧ください。
- **自動位相マッチング「A.P.M.」**

レベル設定「<LEVEL>」

- **テストトーン「T.TONE」** (*2)

以下の設定は、テレビ画面に表示されるメニューを使って説明しています。

「[スピーカーレベルを調節する \[Level\]](#)」をご覧ください。

- **フロントスピーカー (左) レベル「FL LVL」** (*2)
- **フロントスピーカー (右) レベル「FR LVL」** (*2)
- **センタースピーカーレベル「CNT LVL」** (*2)
- **サラウンドスピーカー (左) レベル「SL LVL」** (*2)
- **サラウンドスピーカー (右) レベル「SR LVL」** (*2)
- **サラウンドバックスピーカーレベル「SB LVL」** (*2)
- **サラウンドバックスピーカー (左) レベル「SBL LVL」** (*2)
- **サラウンドバックスピーカー (右) レベル「SBR LVL」** (*2)
- **ハイトスピーカー (左) レベル「HTL LVL」** (*2)
- **ハイトスピーカー (右) レベル「HTR LVL」** (*2)
- **アクティブサブウーファーレベル「SW LVL」** (*2)

- **TV音量調整機能「TV.OFFSET」**

スピーカー設定「<SPKR>」

- **スピーカーパターン「PATTERN」**
スピーカーパターンについて詳しくは取扱説明書を参照してください。
- **サラウンドバックスピーカーの割り当て「SB.ASSIGN」**
この設定は [Easy Setup] の過程で設定できます。 [Easy Setup] について詳しくは取扱説明書を参照してください。
- **ハイト/オーバーヘッドスピーカー「HEIGHT」**
この設定は [Easy Setup] の過程で設定できます。 [Easy Setup] について詳しくは取扱説明書を参照してください。
- **天井の高さ「CEILING.H.」**

以下の設定は、テレビ画面に表示されるメニューを使って説明しています。

「[スピーカーのサイズを調節する \[Size\]](#)」をご覧ください。

- **フロントスピーカーサイズ「FRT SIZE」** (*2)
- **センタースピーカーサイズ「CNT SIZE」** (*2)
- **サラウンドスピーカーサイズ「SUR SIZE」** (*2)
- **ハイトスピーカーサイズ「HT SIZE」** (*2)

以下の設定は、テレビ画面に表示されるメニューを使って説明しています。
「[スピーカーの距離を調節する \[Distance\]](#)」をご覧ください。

- フロントスピーカー（左）までの距離「FL DIST.」（*2）
 - フロントスピーカー（右）までの距離「FR DIST.」（*2）
 - センタースピーカーまでの距離「CNT DIST.」（*2）
 - サラウンドスピーカー（左）までの距離「SL DIST.」（*2）
 - サラウンドスピーカー（右）までの距離「SR DIST.」（*2）
 - サラウンドバックスピーカーまでの距離「SB DIST.」（*2）
 - サラウンドバックスピーカー（左）までの距離「SBL DIST.」（*2）
 - サラウンドバックスピーカー（右）までの距離「SBR DIST.」（*2）
 - ハイトスピーカー（左）までの距離「HTL DIST.」（*2）
 - ハイトスピーカー（右）までの距離「HTR DIST.」（*2）
 - アクティブサブウーファーまでの距離「SW DIST.」（*2）
- 距離表示の単位「DIST.UNIT」

以下の設定は、テレビ画面に表示されるメニューを使って説明しています。
「[スピーカーのクロスオーバー周波数を設定する \[Crossover Freq\]](#)」をご覧ください。

- フロントスピーカーのクロスオーバー周波数「FRT CRS.」（*3）
- センタースピーカーのクロスオーバー周波数「CNT CRS.」（*3）
- サラウンドスピーカーのクロスオーバー周波数「SUR CRS.」（*3）
- ハイトスピーカーのクロスオーバー周波数「HT CRS.」（*3）

入力設定「<INPUT>」

- 入力モード「IN MODE」
- 入力に名前を付ける「NAME IN」
- デジタル音声入力端子割り当て「A. ASSIGN」

イコライザー設定「<EQ>」

以下の設定は、テレビ画面に表示されるメニューを使って説明しています。
「[イコライザーを調節する \[Equalizer\]](#)」をご覧ください。

- フロントスピーカーの低域レベル「FRT BASS」
- フロントスピーカーの高域レベル「FRT TRE」
- センタースピーカーの低域レベル「CNT BASS」
- センタースピーカーの高域レベル「CNT TRE」
- サラウンドスピーカーの低域レベル「SUR BASS」
- サラウンドスピーカーの高域レベル「SUR TRE」
- ハイトスピーカーの低域レベル「HT BASS」
- ハイトスピーカーの高域レベル「HT TRE」

チューナー設定「<TUNER>」

- FM放送局の受信モード「FM MODE」
この設定は、テレビ画面に表示されるメニューを使って説明しています。
「[FM放送局の受信モードを選ぶ \[FM Mode\]](#)」をご覧ください。
- プリセットした放送局に名前をつける「NAME IN」
この設定は、テレビ画面に表示されるメニューを使って説明しています。
「[プリセットした放送局に名前をつける \[Name In\]](#)」をご覧ください。

音声設定「<AUDIO>」

- ナイトモード「NIGHT M.」
この設定は、テレビ画面に表示されるメニューを使って説明しています。
「[低音量でもクリアでダイナミックな音を楽しむ \[Night Mode\]](#)」をご覧ください。
- 映像と音声のずれを調節する「A/V SYNC」
- デジタル放送音声選択「DUAL」
- ダイナミックレンジの圧縮「D. RANGE」
- DTS:Xデコーダーモード「NEURAL-X」（*4）

- DTS:Xダイアログコントロール「DIALOG」 (*5)

HDMI設定「<HDMI>」

- HDMI機器制御「CTRL.HDMI」
- 電源オフ連動「STBY.LINK」
- eARC「EARC」
- スタンバイスルー「STBY.THRU」
- HDMI音声出力「AUDIO.OUT」
- オートジャンルセレクター、シーンセレクト連動「S.F. SYNC」
- HDMIアクティブサブウーファーレベル「SW LVL」
- HDMI信号フォーマット「SIG. FMT.」
HDMI信号フォーマットについて詳しくは取扱説明書を参照してください。

BLUETOOTH設定「<BT>」

- BLUETOOTHスタンバイモード「BT STBY」 (*6)
- BLUETOOTH音声フォーマット - AAC「BT AAC」
- BLUETOOTH機能オン/オフ「BT POWER」

システム設定「<SYSTEM>」

- 自動電源オフ「AUTO.STBY」
- スリープタイマー「SLEEP」
- USBアップデート「UPDATE」
- バージョン表示「VER. X.XXX」 (*7)
- 機種名表示「STR-DH790」

*1 自動音場補正を実行し、設定を保存した場合のみこの設定を選べます。

*2 スピーカーパターンの設定によっては、使用できないパラメーターや設定があります。

*3 スピーカーが「SMALL」に設定されているときのみ、このパラメーターを選べます。

*4 以下の場合、この設定は選べません。

- [2ch Stereo]、[Direct]、[Dolby Surround] または [Front Surround] が選ばれているとき
- [Pure Direct] が [On] に設定されているとき
- ヘッドホンをつないでいるとき

*5 この設定は、DTS:Xダイアログコントロール機能に対応したDTS:Xコンテンツを再生しているときのみ選べます。

*6 お使いになるBLUETOOTH機器のペアリングが完了している場合のみ設定できます。

*7 X.XXXにはソフトウェアのバージョンナンバーが入ります。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

スピーカーの位相特性を補正する「A.P.M.」（自動位相マッチング）

アドバンスド D.C.A.C.（デジタルシネマ自動音場補正）機能のA.P.M.（自動位相マッチング）機能を設定できます。スピーカーの位相特性を補正し、つながりのよいサラウンド空間を実現します。以下の操作は、表示窓のメニューを使って行ってください。

- 1 AMP MENUを押す。
- 2 表示窓の「<A.CAL>」メニューから「A.P.M.」を選ぶ。
- 3 お好みの設定を選ぶ。
 - **A.P.M. AUTO**：自動位相マッチングのオン/オフが自動的に切り替わります。
 - **A.P.M. OFF**

ご注意

- 以下の場合、この機能は働きません。
 - ヘッドホンをつないでいるとき
 - 自動音場補正を行っていない場合
 - [Pure Direct] が [On] に設定されているとき
- 音声フォーマットによっては、入力信号を本来のサンプリング周波数よりも低いサンプリング周波数で再生することがあります。

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

各スピーカーからテストトーンを出力する「T.TONE」


各スピーカーから順にテストトーンを出力できます。
以下の操作は、表示窓のメニューを使って行ってください。

- 1 AMP MENUを押す。
- 2 表示窓の「<LEVEL>」メニューから「T.TONE」を選ぶ。
- 3 お好みの設定を選ぶ。
 - OFF
 - **AUTO XXX (*)** : テストトーンが各スピーカーから順番に出力されます。

* XXXにはスピーカーチャンネルが入ります（FL、CNT、FR、SR、SBR、SBL、SL、HL、HR、SW）。表示窓に表示されるスピーカーチャンネルは、スピーカーパターンの設定によって異なります。

テストトーンを出力した結果、スピーカーレベルの調節が必要な場合、「[スピーカーレベルを調節する \[Level\]](#)」を参照してレベルを調節してください。

ヒント

- すべてのスピーカーのレベルを同時に調節するには、 +/-を押してください。本体前面のMASTER VOLUMEつまみでも操作できます。調節中は、表示窓に調節した値が表示されます。

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

接続したテレビに合わせて出力レベルを調節する「TV.OFFSET」（TV音量調整機能）

アンプに接続したスピーカーからのテレビの音声出力レベルが、アンプに接続した他の機器からの音声出力レベルよりも低い場合は、テレビの音声出力レベルを上げることができます。この機能はeARCまたはARC機能に対応したテレビをHDMI TV OUT端子に接続している場合、またはテレビの音声出力をOPTICAL IN端子やAUDIO TV IN端子に接続している場合に有効です。

以下の操作は、表示窓のメニューを使って行ってください。

- 1 AMP MENUを押す。
- 2 表示窓の「<LEVEL>」メニューから「TV.OFFSET」を選ぶ。
- 3 レベルを調節する。
「TV 0 dB」から「TV +6 dB」の範囲で調節できます。

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

天井の高さを設定する「CEILING.H.」

床から天井までの高さを設定します。この機能の設定と自動音場補正を行うことにより、ドルビーアトモスイネーブルドスピーカーをより効果的に使用できます。

- 1 AMP MENUを押す。
- 2 表示窓の「<SPKR>」メニューから「CEILING.H.」を選ぶ。
- 3 高さを調節する。

「2.00M」（「6' 6"」）（*）から「10.00M」（「32' 9"」）の間で調節できます。

* 距離の測定単位を切り替えるには、「[距離の測定単位を選ぶ「DIST.UNIT」](#)」をご覧ください。

ご注意

- 以下の場合のみ、この機能は働きます。
 - [Easy Setup] 設定時に、[Front High/Top/Dolby Speakers] で [Surround Dolby Speakers] または [Front Dolby Speakers] を選んだとき。[Easy Setup] については取扱説明書を参照してください。
 - ヘッドホンをつないでいないとき。

関連項目

- [距離の測定単位を選ぶ「DIST.UNIT」](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

距離の測定単位を選ぶ「DIST.UNIT」

距離を設定する際の単位を選ぶことができます。
以下の操作は、表示窓のメニューを使って行ってください。

- 1 AMP MENUを押す。
- 2 表示窓の「<SPKR>」メニューから「DIST.UNIT」を選ぶ。
- 3 お好みの設定を選ぶ。
 - METER：距離はメートル単位で表示されます。
 - FEET：距離はフィート単位で表示されます。

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

デジタル音声とアナログ音声を切り替える「IN MODE」

機器を本体後面のデジタル音声入力端子とアナログ音声入力端子の両方につないでいる場合、視聴するコンテンツの種類によって、音声入力をどちらかに固定したり、切り替えたりすることができます。以下の操作は、表示窓のメニューを使って行ってください。

- 1 入力切り替え用ボタンを押して入力を選ぶ。
- 2 AMP MENUを押す。
- 3 表示窓の「<INPUT>」メニューから「IN MODE」を選ぶ。
- 4 お好みの設定を選ぶ。
 - **AUTO** : デジタル音声信号が優先されます。複数のデジタル接続をしている場合は、HDMIの音声信号が優先されます。デジタル音声信号がない場合は、アナログ音声信号が選ばれます。テレビ入力を選ばれているときは、eARCまたはARC信号が優先されます。お使いのテレビがeARC機能、ARC機能のどちらにも対応していない場合は、光デジタル音声信号が選ばれます。
 - **OPT** : デジタル音声信号入力をOPTICAL IN端子に指定します。
 - **COAX** : デジタル音声信号入力をCOAXIAL IN端子に指定します。
 - **ANALOG** : アナログ音声信号入力をAUDIO IN (L/R) 端子に指定します。

ご注意

- 入力信号によっては、「IN MODE」が暗く表示され、設定できない場合があります。

ヒント

- 手順1で入力を選ぶときに、本体前面のINPUT SELECTORつまみを使うこともできます。

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

各入力の名前を変更する「NAME IN」

各入力に最大8文字で名前を入力できます。
以下の操作は、表示窓のメニューを使って行ってください。

- 1 変更したい入力名を選ぶ。
- 2 AMP MENUを押す。
- 3 表示窓の「<INPUT>」メニューから「NAME IN」を選ぶ。
- 4 ▲/▼をくり返し押し文字を選び、▶を押す。
◀/▶を押して、入力位置を前後に移動できます。
- 5 手順4をくり返して1文字ずつ入力し、⊕を押す。
入力した名前が登録されます。

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

他の音声入力端子を使う「A. ASSIGN」

端子の初期設定がつないでいる機器に対応していない場合は、OPTICAL IN/COAXIAL IN端子の割り当てを他の入力に変更できます。

例：DVDプレーヤーをOPTICAL TV IN端子につないでいるとき、OPTICAL TV IN端子を「BD/DVD」に割り当てる。以下の操作は、表示窓のメニューを使って行ってください。

- 1 割り当てたい入力名を選ぶ。
- 2 AMP MENUを押す。
- 3 表示窓の「<INPUT>」メニューから「A. ASSIGN」を選ぶ。
- 4 割り当てたい端子を選ぶ。

割り当て可能な音声入力端子

OPT :

MEDIA.B、BD/DVD、SAT、GAME、SA-CD

COAX :

MEDIA.B、BD/DVD、SAT、GAME、SA-CD (*)

NONE :

MEDIA.B (*)、BD/DVD (*)、SAT (*)、GAME (*)、SA-CD

* 初期設定

ご注意

- デジタル音声入力を割り当てると、入力モード設定（「IN MODE」）が自動的に変わることがあります。
- 1つの入力に対して複数の入力を割り当てることはできません。
- 割り当てた端子から音声が出力されない場合は、入力モード設定（「IN MODE」）も確認してください。

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

音声と映像出力を同期させる「A/V SYNC」

音声出力を遅らせて、音声と映像のずれを最小限に調節できます。

大画面の液晶ディスプレイやプラズマモニター、またはプロジェクターをお使いの場合に便利な機能です。この機能は、入力ごとに独立して設定できます。

この設定は、再生中にOPTIONSを押してオプションメニューから選ぶこともできます。

以下の操作は、表示窓のメニューを使って行ってください。

① AMP MENUを押す。

② 表示窓の「<AUDIO>」メニューから「A/V SYNC」を選ぶ。

③ お好みの設定を選ぶ。

- **0 MS – 300 MS**：遅れを0 ms ~ 300 msの範囲で10 ms単位で調節できます。
- **AUTO**：HDMI接続でテレビをつないでいるときは、映像と音声のずれを自動的に調節します。テレビがAVシンク機能に対応している場合のみ機能します。

ご注意

- 音声フォーマットによっては、入力信号を本来のサンプリング周波数よりも低いサンプリング周波数で再生することがあります。

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

デジタル放送の音声を選択をする「DUAL」

デジタル放送で二重音声が見聴可能な場合に、好みの音声を選べます。この機能は、MPEG-2 AAC音源とドルビーデジタル音源でのみ働きます。

この設定は、再生中にOPTIONSを押してオプションメニューから選ぶこともできます。

以下の操作は、表示窓のメニューを使って行ってください。

- 1 AMP MENUを押す。
- 2 表示窓の「<AUDIO>」メニューから「DUAL」を選ぶ。
- 3 お好みの設定を選ぶ。
 - **MAIN/SUB** : フロントスピーカー（左）から主音声、フロントスピーカー（右）から副音声と同時に出力されます。
 - **MAIN** : 主音声が出力されます。
 - **SUB** : 副音声が出力されます。

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

ダイナミックレンジを圧縮する「D. RANGE」

サウンドトラックのダイナミックレンジを狭くします。深夜に小さい音量で映画を見たいときなどに便利です。この機能は、ドルビーデジタルおよびドルビーTrueHDの音源でのみ働きます。以下の操作は、表示窓のメニューを使って行ってください。

- 1 AMP MENUを押す。
- 2 表示窓の「<AUDIO>」メニューから「D. RANGE」を選ぶ。
- 3 お好みの設定を選ぶ。
 - **COMP. ON** : レコーディングエンジニアが意図したとおりにダイナミックレンジが圧縮されます。
 - **COMP. AUTO** : この機能の使用を推奨するフラグが音源にある場合に、ダイナミックレンジが自動的に圧縮されます。
 - **COMP. OFF**

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

DTSCデコーダーのモードを切り替える「NEURAL-X」

DTSCデコーダーを「ダイレクトモード」（「NEURAL-X」を「OFF」に設定している状態）または「非ダイレクトモード」（「NEURAL-X」を「ON」に設定している状態）に切り替えられます。

「ダイレクトモード」では、コンテンツ制作者の意図に可能な限り忠実に音声を復元、再生します。「非ダイレクトモード」では、音源の配置に関わらず可能な限り再生システムのスピーカーレイアウトに合わせて音声を復元します。この機能はDTSCストリームが入力されているときのみ働きます。以下の操作は、表示窓のメニューを使って行ってください。

- 1 AMP MENUを押す。
- 2 表示窓の「<AUDIO>」メニューから「NEURAL-X」を選ぶ。
- 3 お好みの設定を選ぶ。
 - ON：DTSCデコーダーが「非ダイレクトモード」に切り替わります。
 - OFF：DTSCデコーダーが「ダイレクトモード」に切り替わります。

ご注意

- サウンドフィールドで「NEURAL-X」が選ばれているときは、この機能は「OFF」に設定できません。
- 以下の場合、この機能は「ON」に設定できません。
 - [2ch Stereo]、[Direct]、[Dolby Surround] または [Front Surround] が選ばれているとき
 - [Pure Direct] が [On] に設定されているとき
 - ヘッドホンをつないでいるとき

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

DTS:Xダイアログコントロール機能を使う「DIALOG」

DTS:Xダイアログコントロールは、DTS:Xストリームの再生中にセリフの音量を調節する機能です。この機能により、セリフの音量を背景の音から際立たせ、騒がしい環境でもセリフを聞き取りやすくします。以下の操作は、表示窓のメニューを使って行ってください。

- 1 AMP MENUを押す。
- 2 表示窓の「<AUDIO>」メニューから「DIALOG」を選ぶ。
- 3 セリフの音量を調節する。

ご注意

- 音声信号によってはこの機能は働きません。

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

HDMI機器を制御する「CTRL.HDMI」

HDMI機器制御機能をオン/オフできます。詳しくは「[“ブラビアリンク”の準備をする](#)」をご覧ください。
以下の操作は、表示窓のメニューを使って行ってください。

- 1 AMP MENUを押す。
- 2 表示窓の「<HDMI>」メニューから「CTRL.HDMI」を選ぶ。
- 3 「CTRL ON」または「CTRL OFF」を選ぶ。

ご注意

- 「CTRL.HDMI」を「CTRL ON」に設定すると、「AUDIO.OUT」の設定が自動的に変わることがあります。
- スタンバイ状態で、「CTRL.HDMI」が「CTRL ON」に設定されている場合は、本体前面の電源表示ランプが赤色に点灯します。

関連項目

- [“ブラビアリンク”の準備をする](#)
- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

テレビの電源と同時にアンプと接続機器の電源も切る（電源オフ連動）「STBY.LINK」

テレビの電源を切ると、アンプとアンプのHDMI端子に接続された機器の電源も連動して切れます。

以下の操作は、表示窓のメニューを使って行ってください。

- 1 AMP MENUを押す。
- 2 表示窓の「<HDMI>」メニューから「STBY.LINK」を選ぶ。
- 3 お好みの設定を選ぶ。
 - **AUTO**：アンプの入力が [BD/DVD]、[GAME]、[SAT/CATV]、[MEDIA BOX] または [TV] のとき、テレビの電源を切ると、アンプの電源も連動して切れます。
 - **ON**：アンプの入力にかかわらず、テレビの電源を切ると、アンプの電源も連動して切れます。
 - **OFF**：アンプの入力にかかわらず、テレビの電源を切っても、アンプの電源は連動しません。

ご注意

- 機器の状態によっては、接続された機器の電源が切れない場合があります。
- 電源オフ連動はソニー製以外の機器でも使える場合がありますが、動作を保証するものではありません。

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

eARC (Enhanced Audio Return Channel) について

本機のHDMI TV OUT端子はeARC (Enhanced Audio Return Channel) 機能に対応しています。

eARCは、HDMI 2.1で規格化された新機能で、従来のARC (Audio Return Channel) に対応している音声フォーマットに加え、最新の音声フォーマットもサポートしています。

eARCに対応したテレビと本機のHDMI TV OUT端子をHDMIケーブルでつなぐことにより、ARCでは伝送できなかったDolby Atmos - Dolby TrueHDやDTS:XなどのオブジェクトオーディオやマルチチャンネルLPCMを楽しむことができます。

関連項目

- [eARC機能を使うための準備をする](#)
- [テレビ放送の音声をアンプで楽しむ \(eARC/ARC\)](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

eARC機能を使うための準備をする

1 アンプのHDMI TV OUT端子の表示が「ARC」の場合、ソフトウェアアップデートを行う。

ソフトウェアアップデートの手順は、「ソフトウェアをアップデートする「UPDATE」」をご覧ください。
HDMI TV OUT端子の表示が「eARC/ARC」の場合は、ソフトウェアはeARC機能に対応しています。

2 AMP MENUを押す。

3 表示窓の「<HDMI>」メニューから「EARC」を選ぶ。

4 「ON」を選ぶ。

eARC機能が有効になります。eARC対応のテレビにつないでいるときは、eARC機能が働きます。ARC機能対応（eARC機能非対応）のテレビにつないでいるときは、ARC機能が働きます。

ご注意

- 手順3で「EARC」が表示されない場合は、ソフトウェアアップデートを行ってください。詳しくは、「ソフトウェアをアップデートする「UPDATE」」をご覧ください。
- お使いのテレビによっては、eARCの設定項目が用意されている場合があります。アンプ側で「EARC」を「ON」に設定したときは、テレビ側の設定も確認してください。詳しくは、テレビの取扱説明書を参照してください。

関連項目

- [eARC \(Enhanced Audio Return Channel\) について](#)
- [テレビ放送の音声をアンプで楽しむ \(eARC/ARC\)](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

テレビ放送の音声をアンプで楽しむ (eARC/ARC)

テレビのeARCまたはARC対応HDMI入力端子にアンプを接続した場合は、光デジタル音声ケーブルやアナログ音声ケーブルを接続せずにテレビの音声をアンプに接続したスピーカーで聞くことができます。テレビの音声をアンプに接続したスピーカーから出力するには、以下の手順で設定してください。

以下の操作は、表示窓のメニューを使って行ってください。

- 1 AMP MENUを押す。
- 2 表示窓の「<HDMI>」メニューから「CTRL.HDMI」を選ぶ。
- 3 「CTRL ON」を選ぶ。
- 4 「EARC」を選ぶ。
- 5 お好みの設定を選ぶ。
 - **ON** : eARC機能が有効になり、eARC対応のテレビにつないでいるときは、eARC機能が働きます。ARC対応 (eARC非対応) のテレビにつないでいるときは、ARC機能が働きます。
 - **OFF** : ARC機能が有効になります。eARC機能は有効になりません。eARC対応またはARC対応のテレビにつないでいるときは、ARC機能が働きます。
- 6 リモコンのHOMEを押してホームメニューに戻り、[Watch] - [TV] を選ぶ。

お使いのテレビがeARCまたはARCに対応していない場合、またはHDMIケーブル以外のケーブル（光デジタル音声ケーブルまたはアナログ音声ケーブル）経由の音声信号を選びたい場合

音声入力モードを切り替えてください。詳しくは、「[デジタル音声とアナログ音声を切り替える「IN MODE」](#)」をご覧ください。

ご注意

- ARCはソニー製以外の機器でも働く場合がありますが、動作を保証するものではありません。
- 必ず事前にテレビの音量をオフにするか、または消音機能を有効にしてください。
- お使いのテレビにシステムオーディオコントロールがない場合にテレビのスピーカーとアンプに接続したスピーカーから音声を出力するには、AMP MENUを押し、表示窓の「<HDMI>」メニューで「AUDIO.OUT」を「TV+AMP」に設定してください。
- お使いのテレビによっては、eARCまたはARCの設定項目が用意されている場合があります。テレビ側の設定も確認してください。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書を参照してください。

関連項目

- [eARC \(Enhanced Audio Return Channel\) について](#)
- [eARC機能を使うための準備をする](#)
- [デジタル音声とアナログ音声を切り替える「IN MODE」](#)
- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

- 接続機器のHDMI音声信号出力を設定する「AUDIO.OUT」
- アンプにつないだスピーカーからテレビの音声がでない

4-731-211-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

アンプの電源を入れずに機器のコンテンツを楽しむ「STBY.THRU」

アンプの電源を入れなくても接続機器の音声と映像を楽しむようにする機能です。

以下の操作は、表示窓のメニューを使って行ってください。

1 AMP MENUを押す。

2 表示窓の「<HDMI>」メニューから「STBY.THRU」を選ぶ。

3 お好みの設定を選ぶ。

- **ON** : スタンバイ状態でも、HDMI TV OUT端子から常にHDMI信号が出力されます。ソニー製以外のテレビをお使いの場合、この設定をおすすめします。
- **AUTO** : スタンバイ状態のときにテレビの電源を入れると、HDMI TV OUT端子からHDMI信号を出力します。“ブラビアリンク”対応のソニー製テレビをお使いの場合、この設定をおすすめします。この設定にすると、「ON」に設定したときよりもスタンバイ状態時の消費電力を抑えられます。
- **OFF** : スタンバイ状態時にはHDMI信号を出力しません。この設定にすると、「ON」設定時よりもスタンバイ状態時の消費電力を抑えられます。

ご注意

- スタンバイ状態で、「STBY.THRU」が「ON」または「AUTO」に設定されている場合は、本体前面の電源表示ランプが赤色に点灯します。
- 「AUTO」が選ばれているときは、「ON」を選んでいるときよりも、映像や音声テレビに出力されるのに時間がかかる場合があります。
- 「AUTO」の設定はソニー製以外の機器でも使える場合がありますが、動作を保証するものではありません。

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

接続機器のHDMI音声信号出力を設定する「AUDIO.OUT」

HDMI接続した再生機器からのHDMI音声信号を設定できます。

以下の操作は、表示窓のメニューを使って行ってください。

- 1 AMP MENUを押す。
- 2 表示窓の「<HDMI>」メニューから「AUDIO.OUT」を選ぶ。
- 3 お好みの設定を選ぶ。
 - **AMP**：再生機器からのHDMI音声信号を、接続したスピーカーにのみ出力します。マルチチャンネルの音声をそのまま再生できます。
 - **TV+AMP**：再生機器からのHDMI音声信号を、アンプに接続したスピーカーとテレビのスピーカーの両方から出力します。

ご注意

- 「AUDIO.OUT」が「AMP」に設定されているときは、音声信号はテレビのスピーカーからは出力されません。
- 「TV+AMP」に設定している場合、再生機器からアンプを通してテレビに入力できる音声信号（フォーマット、チャンネル数、サンプリング周波数、ビット長など）は、テレビ側が対応しているものに限られます。テレビがステレオ音声にしか対応していない場合、マルチチャンネル音源の再生時でも、アンプからもテレビと同じステレオ音声が出力されます。
- アンプにプロジェクターなどの映像機器を接続している場合に、アンプから音声が出力されない場合があります。この場合は、「AMP」に設定してください。
- 「TV+AMP」に設定しても、HDMI IN端子以外からの音声信号はテレビのスピーカーから出力することはできません。

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

最適な音場（サウンドフィールド）を自動で選ぶ（音質モード／シーンセレクト連動） 「S.F. SYNC」

テレビの音質モード／シーンセレクトの設定に応じて、アンプの音場（サウンドフィールド）を自動的に切り替えます。

詳しくは、テレビの取扱説明書を参照してください。以下の操作は、表示窓のメニューを使って行ってください。

- 1 AMP MENUを押す。
- 2 表示窓の「<HDMI>」メニューから「S.F. SYNC」を選ぶ。
- 3 お好みの設定を選ぶ。
 - **ON**：デジタル放送のテレビ番組のジャンル、またはテレビの音質モード／シーンセレクトの設定に応じて、サウンドフィールドが自動的に切り替わります。
 - **OFF**：選択したサウンドフィールドで、音声を出力します。

音質モード／シーンセレクトとアンプのサウンドフィールドは以下のように切り替わります。

- シネマ：Dolby Surround (DSUR)
- スポーツ：Dolby Surround (DSUR)
- ミュージック：Dolby Surround (DSUR)
- アニメ：Dolby Surround (DSUR)
- フォト：Multi Ch Stereo (MULTI ST.)
- ゲーム：Dolby Surround (DSUR)
- グラフィックス：Multi Ch Stereo (MULTI ST.)
- ニュース：Multi Ch Stereo (MULTI ST.)
- スタンダード：Multi Ch Stereo (MULTI ST.)

ご注意

- お使いのテレビのシーンセレクトや音質モードの設定に応じてサウンドフィールドが切り替わる時、音が途切れることがあります。
- テレビの音質モード／シーンセレクトが自動モードの場合、サウンドフィールドは番組情報（EPG情報）に応じて自動的に切り替わります。自動モードの名称はテレビによって異なります。詳しくは、テレビの取扱説明書を参照してください。
- 音質モード／シーンセレクト連動はソニー独自の機能です。ソニー製以外の機器では使えません。

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)
- [番組のジャンルに応じた音場（サウンドフィールド）に自動的に切り替える（オートジャンルセクター）](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

アクティブサブウーファースのレベルを設定する「SW LVL」

PCM信号がHDMI接続で入力されているとき、アクティブサブウーファースのレベルを0 dBまたは+10 dBに設定できます。HDMI入力端子に割り当てられている各入力のレベルを個別に設定できます。以下の操作は、表示窓のメニューを使って行ってください。

- 1 AMP MENUを押す。
- 2 表示窓の「<HDMI>」メニューから「SW LVL」を選ぶ。
- 3 お好みの設定を選ぶ。
 - SW AUTO : オーディオストリームに応じて、レベルを0 dBまたは+10 dBに自動で設定します。
 - SW +10 dB
 - SW 0 dB

ご注意

- [FM]、[BT]、[SA-CD/CD]、[TV] を選んでいるときは、この機能は無効です。

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

BLUETOOTHスタンバイモードを設定する「BT STBY」

BLUETOOTH機器とのペアリングが完了していれば、BLUETOOTHスタンバイモードを設定できます。オンに設定すると、アンプがスタンバイ状態のときでもBLUETOOTH機器の操作でアンプに電源が入り、BLUETOOTH接続が開始されます。

以下の操作は、表示窓のメニューを使って行ってください。

- 1 AMP MENUを押す。
- 2 表示窓の「<BT>」メニューから「BT STBY」を選ぶ。
- 3 お好みの設定を選ぶ。
 - STBY ON : ペアリングしたBLUETOOTH機器からアンプの電源を入られます。
 - STBY OFF

ご注意

- 「BT STBY」が「STBY ON」に設定されていて、ペアリング済みのBLUETOOTH機器がある場合は、スタンバイ状態時に本体前面の電源表示ランプが赤色に点灯します。

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

BLUETOOTHオーディオコーデックを設定する「BT AAC」

AAC (Advanced Audio Coding) を有効または無効にできます。

以下の操作は、表示窓のメニューを使って行ってください。

- 1 AMP MENUを押す。
- 2 表示窓の「<BT>」メニューから「BT AAC」を選ぶ。
- 3 お好みの設定を選ぶ。
 - AAC ON : BLUETOOTH機器がAACに対応している場合は、AAC音声の有効になります。
 - AAC OFF : AAC音声は無効になります。

ご注意

- 設定を変更すると、次にBLUETOOTH機器と接続したときに設定が適用されます。
- BLUETOOTH機器と接続している間は、この機能は使えません。このとき、表示窓の「BT AAC」は暗く表示されます。

ヒント

- AAC音声の有効な場合、高音質の音声を楽しむことができます。

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

BLUETOOTH機能をオン/オフする「BT POWER」

アンプのBLUETOOTH機能をオン/オフできます。
以下の操作は、表示窓のメニューを使って行ってください。

- 1 AMP MENUを押す。
- 2 表示窓の「<BT>」メニューから「BT POWER」を選ぶ。
- 3 「BT ON」または「BT OFF」を選ぶ。

ご注意

- 入力ソースとして [BT] (BLUETOOTH機器) を選んでいるときは、この機能は設定できません (表示窓の「BT POWER」の表示が暗くなります)。

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

自動的にスタンバイ状態になるよう設定をする「AUTO.STBY」

操作や信号の入力がないときに、自動的にアンプがスタンバイ状態に切り替わるように設定できます（オートスタンバイ機能）。

以下の操作は、表示窓のメニューを使って行ってください。

- 1 AMP MENUを押す。
- 2 表示窓の「<SYSTEM>」メニューから「AUTO.STBY」を選ぶ。
- 3 お好みの設定を選ぶ。
 - **STBY ON** : 操作しない時間または信号入力がない状態が約20分経過すると、アンプはスタンバイ状態になります。
 - **STBY OFF**

ご注意

- 入力ソースとして [FM] を選んでいるときは、この機能は働きません。
- オートスタンバイ機能とスリープタイマーが同時に設定されている場合は、スリープタイマーが優先されます。

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

ソフトウェアをアップデートする「UPDATE」

アップデートを行う前に、カスタマーサポートサイトから最新バージョンのソフトウェアを、お使いのUSBフラッシュドライブにダウンロードしてください。以下の操作は、表示窓のメニューを使って行ってください。

① USBフラッシュドライブを本体後面のPOWER SUPPLYポートにつなぐ。

② AMP MENUを押す。

③ 表示窓の「<SYSTEM>」メニューから「UPDATE」を選ぶ。

④ 「START」を選ぶ。

「READING」が点滅したあと、アップデート中は「UPDT xxx」（*）が表示窓に表示されます。アップデートが完了すると、表示窓に「COMPLETE」が表示され、アンプが自動的に再起動します。

* 「xxx」はアップデート完了のパーセンテージです。

ご注意

- アップデートが完了するまでに15分ほどかかる場合があります。
- ソフトウェアのアップデート中は、アンプの電源を切らないでください。故障の原因となることがあります。
- ソフトウェアのアップデート後は、古いバージョンの復元はできません。

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)
- [カスタマーサポートウェブサイト](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

ソフトウェアのバージョンを確認する「VER. X.XXX」

アンプのソフトウェアバージョンを確認できます。以下の操作は、表示窓のメニューを使って行ってください。

- 1 AMP MENUを押す。
- 2 表示窓の「<SYSTEM>」メニューを選ぶ。
- 3 「VER. X.XXX」が表示されるまで、▼をくり返し押す。
ソフトウェアのバージョンが表示窓に表示されます。

関連項目

- [表示窓のメニューを使ってできる設定一覧](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

PROTECT

表示窓に「PROTECT」の表示が出ると、数秒後にアンプの電源が自動的に切れます。以下を確認してください。

- 電圧異常または電源異常が起きています。電源コードを抜いて、30分間おいてもう一度電源コードをつないでください。
- アンプが何かで覆われ、通気孔がふさがれています。通気孔をふさいでいるものを取り除いてください。
- すべてのスピーカーとアクティブサブウーファースのケーブルを抜いてください。
- スピーカーケーブルの芯線の先端がしっかりとねじってあるか確認してください。
- まずフロントスピーカーをつないでから、電源コードをつないで電源を入れてください。それから音量レベルを上げ、アンプの温度が上がるまで少なくとも30分間、アンプを操作してください。そのあと、他のスピーカーを1台ずつつないで各スピーカーをテストし、どのスピーカーがプロテクションエラーの原因になっているかを確認してください。
- 本体後面に表示されているインピーダンス範囲よりインピーダンスの低いスピーカーをつないでいます。インピーダンス範囲内のスピーカーをつないでください。
- 以上の項目を確認して問題が解決したら、アンプの電源を入れてください。それでも問題が解決しない場合は、お近くのソニー販売店へお問い合わせください。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

USB FAIL

POWER SUPPLYポートで過電流が発生しました。アンプの電源を切り、USB機器を抜いてからアンプの電源を入れ直してください。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

電源が自動的に切れる

- 表示窓の「<SYSTEM>」メニューの「AUTO.STBY」が「STBY ON」に設定されています。「STBY OFF」に設定してください。
- スリープタイマーが働いています。
- 異常が検知されたため、保護回路（「PROTECT」）が働いています。

関連項目

- [自動的にスタンバイ状態になるよう設定をする「AUTO.STBY」](#)
- [スリープタイマーを使う](#)
- [PROTECT](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

複数のデジタル機器を接続中、再生可能な入力が見つからない

COAXIAL IN端子およびOPTICAL IN端子を他の入力に再度割り当ててください。
詳しくは、「[他の音声入力端子を使う「A. ASSIGN」](#)」をご覧ください。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

テレビの電源を入れてもアンプの電源が入らない

- AMP MENUを押して、表示窓の「<HDMI>」メニューの「CTRL.HDMI」を「CTRL ON」に設定してください。テレビがHDMI機器制御機能に対応している必要があります。詳しくは、テレビの取扱説明書を参照してください。
- テレビのスピーカー設定を確認してください。アンプの電源はテレビのスピーカー設定に連動します。詳しくは、テレビの取扱説明書を参照してください。
- 前回テレビのスピーカーから音声が出力されていた場合は、テレビの電源を入れてもアンプの電源は入りません。

関連項目

- [“ブラビアリンク”の準備をする](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

テレビの電源を切るとアンプの電源が切れる

- AMP MENUを押して、表示窓の「<HDMI>」メニューの「STBY.LINK」の設定を確認してください。「ON」に設定している場合は、アンプの入力にかかわらず、テレビの電源を切ると、アンプの電源も連動して切れます。

関連項目

- [テレビの電源と同時にアンプと接続機器の電源も切る（電源オフ連動）「STBY.LINK」](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

テレビの電源を切ってもアンプの電源が切れない

- AMP MENUを押して、表示窓の「<HDMI>」メニューの「CTRL.HDMI」を「CTRL ON」に設定してください。テレビがHDMI機器制御機能に対応している必要があります。詳しくは、テレビの取扱説明書を参照してください。
- AMP MENUを押して、表示窓の「<HDMI>」メニューの「STBY.LINK」の設定を確認してください。テレビの電源を切ったときに、アンプの入力にかかわらずアンプの電源も連動させたい場合は、「STBY.LINK」を「ON」に設定してください。テレビがHDMI機器制御機能に対応している必要があります。詳しくは、テレビの取扱説明書を参照してください。

関連項目

- [“ブラビアリンク”の準備をする](#)
- [テレビの電源と同時にアンプと接続機器の電源も切る（電源オフ連動）「STBY.LINK」](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

アンプにつないだスピーカーからテレビの音が出ない

- テレビとアンプをつないでいるHDMIケーブル、光デジタル音声ケーブル、またはアナログ音声ケーブルの種類や接続を確認してください。詳しくは、付属の取扱説明書を参照してください。
- アンプをeARCまたはARC機能対応テレビに接続しているときは、アンプがテレビのeARCまたはARC機能対応HDMI入力端子に接続されているか確認してください（付属の取扱説明書を参照してください）。
- テレビがeARCまたはARC機能に対応している場合は、テレビのHDMI機器制御機能がオンになっていることを確認してください。
- 表示窓の「<HDMI>」メニューの「CTRL.HDMI」が「CTRL ON」に設定されていることを確認してください。
- ARC機能対応（eARC機能非対応）のテレビに接続している場合には、表示窓の「<HDMI>」メニューの「EARC」を「OFF」に設定してください。
- アンプの入力が [TV] のとき、表示窓の「<INPUT>」メニューの「IN MODE」が「AUTO」に設定されていることを確認してください。
- お使いのテレビがシステムオーディオコントロールに対応していることを確認してください。テレビ（ブラビア）のスピーカー設定を「オーディオシステム」にしてください。設定のしかたについては、テレビの取扱説明書を参照してください。
- お使いのテレビにシステムオーディオコントロールがない場合は、AMP MENUを押して、表示窓の「<HDMI>」メニューから「AUDIO.OUT」を選び、以下のとおり設定してください。
 - 「TV+AMP」：アンプにつないだスピーカーとテレビのスピーカーの両方から音を聞きたい場合。
 - 「AMP」：アンプにつないだスピーカーのみで音を聞きたい場合。
- お使いのテレビがeARC機能、ARC機能のどちらにも対応していない場合は、テレビとアンプを光デジタル音声ケーブル（別売）かアナログ音声ケーブル（別売）で接続してください。テレビがeARC機能、ARC機能のどちらにも対応していない場合は、アンプをテレビのHDMI入力端子に接続しても、テレビの音声はアンプに接続されたスピーカーから出力されません。
- テレビとアンプの電源を入れる順番によっては、アンプが消音状態になり、本体前面の表示窓に「MUTING」と表示される場合があります。その場合は、テレビの電源を入れてから、アンプの電源を入れてください。
- アンプの入力を [TV] に切り替えてください。
- アンプの音量を上げる、または消音状態を解除してください。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

アンプにつないだスピーカーとテレビのスピーカーの両方から音が出る

- アンプまたはテレビを消音状態にしてください。
- HDMI接続した再生機器からのHDMI音声信号がアンプにつないだスピーカーとテレビのスピーカーの両方から出力される場合は、表示窓の「<HDMI>」メニューから「AUDIO.OUT」を選び、「AMP」を選んでください。アンプにつないだスピーカーからのみ出力されるようになります。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

スタンバイ状態時に映像や音声テレビに出力されない

- アンプがスタンバイ状態になると、スタンバイ状態になる直前に選択していたHDMI機器からの映像／音声がテレビに出力されます。映像／音声が出ない場合は、以下の操作を行ってください。
 - アンプの電源を入れて、入力を再生している機器に切り替えてください。
 - AMP MENUを押して、表示窓の「<HDMI>」メニューの「CTRL.HDMI」を「CTRL.ON」に設定後、「<HDMI>」メニューの「STBY.THRU」を「AUTO」または「ON」に設定してください。
- HDMI機器制御機能が搭載されたソニー製以外の機器をつないでいる場合は、AMP MENUを押して、表示窓の「<HDMI>」メニューの「CTRL.HDMI」を「CTRL.ON」に設定してください。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

テレビの映像と本機につないだスピーカーからの音声がずれている

- AMP MENUを押して、表示窓の「<AUDIO>」メニューの「A/V SYNC」を選び、映像と音声のずれを調節してください。
- テレビ側でAVシンクの設定を行ってください。詳しくは、テレビの取扱説明書を参照してください。

関連項目

- [音声と映像出力を同期させる「A/V SYNC」](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

テレビ番組や録画した番組を視聴中に、音声途切れる

- AMP MENUを押して、表示窓の「<HDMI>」メニューから「S.F. SYNC」の設定を確認してください。「ON」に設定している場合は、視聴中の番組情報に応じてサウンドフィールドが自動的に切り替わる際に、音声途切れることがあります。
音声途切れないようにするには、設定を「OFF」にして好みのサウンドフィールドを選んでください。

関連項目

- [最適な音場（サウンドフィールド）を自動で選ぶ（音質モード／シーンセレクト連動）「S.F. SYNC」](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

サウンドフィールドが自動的に切り替わる

- AMP MENUを押して、表示窓の「<HDMI>」メニューから「S.F. SYNC」の設定を確認してください。
「ON」に設定している場合は、視聴中の番組情報やテレビの音質モード/シーンセレクトの設定に応じてサウンドフィールドが自動的に切り替わります。
サウンドフィールドを自動的に切り替えたくない場合は、設定を「OFF」にしてください。「OFF」に設定している場合、サウンドフィールドはアンプの入力ごとに設定できます。

関連項目

- [最適な音場（サウンドフィールド）を自動で選ぶ（音質モード/シーンセレクト連動）「S.F. SYNC」](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

どの機器を選んでも音が出ない、または音がほとんど聞こえない

- すべての接続ケーブルが、アンプ、スピーカー、機器のそれぞれの入力／出力端子に差し込まれているか確認してください。
- 本体前面のMASTER VOLUMEつまみが「VOL MIN」に設定されていないか確認してください。
- 本体前面のSPEAKERSボタンをくり返し押し、「OFF」以外の設定を選んでください。
- ヘッドホンをアンプにつないでいないことを確認してください。
- リモコンの唖を押して消音機能を解除してください。
- リモコンの入力切り替え用ボタンを押すか、本体前面のINPUT SELECTORつまみを回して、視聴したい入力を選んでください。
- テレビに接続されたケーブルテレビ（CATV）ボックス／衛星放送チューナーの音声がでない場合は、それぞれの機器をアンプのHDMI入力端子に接続して、アンプの入力を接続した機器の入力に切り替えてください。詳しくは、付属の取扱説明書を参照してください。
- テレビのスピーカーから音声を聞きたいときは、AMP MENUを押して、表示窓の「<HDMI>」メニューの「AUDIO.OUT」を「TV+AMP」に設定してください。マルチチャンネル音声を再生できない場合は、「AMP」に設定してください。ただし、その場合、音声はテレビのスピーカーからは出力されません。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

特定のスピーカーから音が出ない、または音がほとんど聞こえない

- ホームメニューの [Easy Setup] で自動音場補正を実行する、または表示窓の「<SPKR>」メニューの「PATTERN」を使って、スピーカーの設定が適切か確認してください。その後、AMP MENUを押して表示窓の「<LEVEL>」メニューの「T.TONE」を選び、各スピーカーから正しく音声が出力されているか確認してください。
- ドルビーデジタルサラウンドEXの情報を持たないディスクがあります。その場合は、一部のスピーカーから音声が出力されないことがあります。
- アクティブサブウーファースの電源が入っているか確認してください。
- アクティブサブウーファースの音量を確認してください。
- 選択した音場（サウンドフィールド）によっては、アクティブサブウーファースから音が出ない場合があります。
- DTSコンテンツを再生するとき、またはサウンドフィールドを [Neural:X] に設定しているときは、ハイトスピーカーから音声が出力されないことがあります。その場合は、[Easy Setup] 設定時に、[Speaker Pattern] で [5.1.2ch] を選び、かつ [Front High/Top/Dolby Speakers] で [Front High Speakers] を選んでください。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

特定の機器から音が出ない

- 機器が、対応する音声入力端子に正しく接続されているか確認してください。
- 接続に使用されているケーブルが、アンプと機器の端子に確実に差し込まれているか確認してください。
- 機器が、対応するHDMI入力端子に正しく接続されているか確認してください。
- 現在の入力モードの設定を確認してください。入力モードが適切でない場合は、AMP MENUを押して、表示窓の「<INPUT>」メニューの「IN MODE」から設定を切り替えてください。
- 再生機器によっては、機器側でHDMI設定が必要な場合があります。お使いの機器に付属の取扱説明書を参照してください。
- 解像度が1080pの映像やDeep Color、4Kまたは3Dの映像を視聴するときは、イーサネット対応ハイスピードHDMIケーブルをお使いください。4K/60p 4:4:4、4:2:2および4K/60p 4:2:0 10 bitなど高帯域幅を必要とする映像信号の場合には、18 Gbpsに対応したプレミアムハイスピードHDMIケーブル（イーサネット対応）が必要です。
- テレビ画面にホームメニューが表示されているときは、アンプから音声が出力されないことがあります。HOMEを押して、ホームメニューを非表示にしてください。
- HDMI端子から伝送された音声信号（フォーマット、チャンネル数、サンプリング周波数、ビット長など）は接続機器側で制限されることがあります。HDMIケーブルで接続した機器からの映像が明瞭でなかったり、音が出なかったりする場合は、機器の設定を確認してください。
- 接続機器が著作権保護技術（HDCP）に対応していない場合、本体後面のHDMI TV OUT端子からの映像や音声が歪んだり、出力されないことがあります。このような場合は、接続機器の仕様を確認してください。
- High Bitrate Audio（DTS-HD Master Audio、ドルビーTrueHD）を楽しむには、再生機器の映像解像度を720p/1080iより高く設定してください。
- DSDやマルチチャンネルリニアPCMフォーマットの音声を楽しむには、再生機器の映像解像度の設定が必要な場合があります。再生機器の取扱説明書を参照してください。
- アンプにプロジェクターなどの映像機器をつないでいるとき、アンプから音声が出力されない場合があります。この場合は、AMP MENUを押し、表示窓の「<HDMI>」メニューの「AUDIO.OUT」を「AMP」に設定してください。
- アンプでテレビ入力を選ばれているときは、アンプにつないだ機器の音声は聞こえません。HDMI接続でつないだ機器の番組を視聴したいときは、必ずアンプの入力をHDMIに変更してください。
- HDMI機器制御機能を使用しているときは、つないだ機器をテレビのリモコンで操作することはできません。
 - お使いの機器およびテレビによっては、機器側とテレビ側で設定が必要な場合があります。機器とテレビに付属の取扱説明書を参照してください。
 - アンプの入力を機器を接続しているHDMI入力に切り替えてください。
- 選んだデジタル音声入力端子が他の入力に割り当てられていないか確認してください。

関連項目

- [接続機器のHDMI音声信号出力を設定する「AUDIO.OUT」](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

左右の音のバランスが悪い、または逆転している

- スピーカーおよび各機器が正しく、確実に接続されているか確認してください。
- [Speaker Setting] メニューで、音声レベルのパラメーターを調節してください。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

ドルビーアトモス再生を楽しみたい

ドルビーアトモス再生を楽しむには、以下の操作をすべて行ってください。

- 1 **天井スピーカーまたはドルビーアトモスイネーブルドスピーカーを、本体背面のSPEAKERS SURROUND BACK/HEIGHT (FRONT B/BI-AMP) 端子に接続する。**

スピーカーの接続について詳しくは、付属の取扱説明書を参照してください。

- 2 **アンプにテレビとブルーレイディスク™レコーダー/プレーヤーを接続する場合は、アンプのHDMI TV OUT (eARC/ARC) 端子にテレビを、HDMI IN端子にブルーレイディスクレコーダー/プレーヤーを接続する。**

接続にはプレミアムハイスピードHDMIケーブル（イーサネット対応）を使用してください。テレビやAV機器との接続について詳しくは、付属の取扱説明書を参照してください。

- 3 **お使いのスピーカー構成に合わせてスピーカーパターンを設定する。**

テレビ画面で設定する場合

1. ホームメニューから [Easy Setup] を選ぶ。
2. [Assign Surround Back Terminals] を選び、表示された画面で [Height Speakers] を選ぶ。
3. [Speaker Pattern] を [x.x.2ch]（例えば [5.1.2ch] や [4.1.2ch] など）に設定する。
4. [Front High/Top/Dolby Speakers] を [Top Middle Speakers] または [Front Dolby Speakers] に設定する。
5. 画面の指示に従って自動音場補正を完了する。

表示窓で設定する場合

1. AMP MENUを押して、表示窓の「<SPKR>」メニューから「PATTERN」を選び、「x.x.2」（例えば「5.1.2」や「4.1.2」など）を選ぶ。
2. 「<SPKR>」メニューから「HEIGHT」を選び、「TM」（トップミドルスピーカー）または「FD」（フロントドルビーアトモスイネーブルドスピーカー）に設定する。

- 4 **アンプのサウンドフィールドを以下のいずれかの方法で設定する。**

- 本体またはリモコンの2CH/MULTIボタンをくり返し押して「A.F.D.」を選ぶ。
- ホームメニューから [Sound Effect] - [Sound Field] を選び、[2CH/MULTI: Auto Format Decoding] に設定する。

サウンドフィールドについて詳しくは、「[音場（サウンドフィールド）を選ぶ](#)」および「[選べるサウンドフィールドとその効果](#)」をご覧ください。

- 5 **ドルビーアトモス対応のディスクを用意する。**

ドルビーアトモスに対応した映画などのコンテンツは、ブルーレイディスクとして販売されています。視聴したいディスクにドルビーアトモスが採用されていることを確認してください。

- 6 **ブルーレイディスクレコーダー/プレーヤーの設定を確認する。**

再生機器側の設定によってはドルビーアトモスで再生できないことがあります。ソニー製ブルーレイディスクレコーダー/プレーヤーをお使いの場合、[音声設定] - [BD音声MIX設定] を [切] に設定してください。

- 7 ブルーレイディスクの音声言語設定で、ドルビーアトモス対応の音声または言語を選択する。

4-731-211-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

ドルビーアトモスで再生できているか確認したい

リモコンまたは本体前面のDISPLAYボタンをくり返し押してください。ドルビーアトモスのコンテンツ再生時は表示窓に「ATMOS」と表示されます。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

ドルビーデジタルまたはDTSマルチチャンネルの音源が再生できない

- DVDなど再生中のコンテンツの音声、ドルビーデジタル（Dolby Digital）またはDTS形式で記録されているか確認してください。
- DVDプレーヤーなどの機器を本体後面のデジタル入力端子につないでいるときは、機器側のデジタル音声の出力設定が有効になっているか確認してください。
- AMP MENUを押して、表示窓の「<HDMI>」メニューの「AUDIO.OUT」を「AMP」に設定してください。
- High Bitrate Audio（DTS-HD Master Audio、ドルビーTrueHD）やオブジェクトベースの音声フォーマット（DTS:X、ドルビーアトモス）、DSD、マルチチャンネルリニアPCMは、HDMI接続でのみ楽しめます。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

サラウンド効果が得られない

- コンテンツに応じて適切なサウンドフィールドが選ばれていることを確認してください。サウンドフィールドについて詳しくは「[選べるサウンドフィールドとその効果](#)」をご覧ください。
- スピーカーパターンが「2.0」または「2.1」のときは、Dolby Surround、Neural:Xは働きません。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

スピーカーからテスト音が出力されない

- スピーカーケーブルは確実につないでください。スピーカーケーブルを軽く引っ張ってみて、抜けないことを確認してください。
- スピーカーケーブルがショートしている恐れがあります。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

表示窓に表示されているスピーカーと異なるスピーカーからテストトーンが出力される

- スピーカーパターンの設定が間違っています。スピーカーの接続とスピーカーパターンが正しく一致していることを確認してください。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

スタンバイ状態時に映像や音声テレビに出力されない

- アンプがスタンバイ状態になると、スタンバイ状態になる直前に選択していたHDMI機器からの映像／音声がテレビに出力されます。映像／音声が出ない場合は、以下の操作を行ってください。
 - アンプの電源を入れて、入力を再生している機器に切り替えてください。
 - AMP MENUを押して、表示窓の「<HDMI>」メニューの「CTRL.HDMI」を「CTRL.ON」に設定後、「<HDMI>」メニューの「STBY.THRU」を「AUTO」または「ON」に設定してください。
- HDMI機器制御機能が搭載されたソニー製以外の機器をつないでいる場合は、AMP MENUを押して、表示窓の「<HDMI>」メニューの「CTRL.HDMI」を「CTRL.ON」に設定してください。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

テレビに映像が表示されない

- リモコンの入力切り替え用ボタンを押すか、本体前面のINPUT SELECTORつまみを回して、視聴したい入力を選んでください。
- テレビを適切な入力モードに設定してください。
- ケーブルが正しく、しっかりと機器に接続されているか確認してください。
- 本機とテレビを接続しているHDMIケーブルを、本機とテレビの両方から抜き、接続し直してください。
- 表示窓の「<HDMI>」メニューで、選ばれている入力の「SIG. FMT.」を「STANDARD」に設定してください。
- 再生機器によっては、機器側で設定が必要な場合があります。各機器に付属の取扱説明書を参照してください。
- 解像度が1080pの映像やDeep Color、4Kまたは3Dの映像を視聴するときは、イーサネット対応ハイスピードHDMIケーブルをお使いください。4K/60p 4:4:4、4:2:2および4K/60p 4:2:0 10 bitなど高帯域幅を必要とする映像信号の場合には、18 Gbpsに対応したプレミアムハイスピードHDMIケーブル（イーサネット対応）が必要です。
- HDCP 2.2のコンテンツを再生する場合は、アンプをテレビのHDCP 2.2対応のHDMI入力端子に接続してください。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

テレビ画面に4K映像が表示されない

- テレビまたはビデオ機器によっては、4Kの映像が表示されないことがあります。お使いのテレビやビデオ機器の設定、対応する映像フォーマットを確認してください。
- イーサネット対応ハイスピードHDMIケーブルを使用してください。4K/60p 4:4:4、4:2:2および4K/60p 4:2:0 10 bitなど高帯域幅を必要とする映像信号の場合には、18 Gbpsに対応したプレミアムハイスピードHDMIケーブル（イーサネット対応）が必要です。
- お使いのテレビによっては、HDMI信号フォーマットと同様の設定項目が用意されている場合があります。アンプ側で「SIG.FMT.」を「ENHANCED」に設定したときは、テレビ側の設定も確認してください。アンプのHDMI信号フォーマットの設定について詳しくは、付属の取扱説明書を参照してください。テレビ側の設定について詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書を参照してください。
- アンプは、必ず4K対応のテレビまたはビデオ機器のHDMI入力端子につないでください。4K解像度のコンテンツを再生するためには、HDMIケーブルは再生機器のHDCP 2.2対応のHDMI端子につなぐ必要があります。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

スタンバイ状態時に映像や音声がテレビに出力されない

- アンプがスタンバイ状態になると、スタンバイ状態になる直前に選択していたHDMI機器からの映像／音声がテレビに出力されます。映像／音声がでない場合は、以下の操作を行ってください。
 - アンプの電源を入れて、入力を再生している機器に切り替えてください。
 - AMP MENUを押して、表示窓の「<HDMI>」メニューの「CTRL.HDMI」を「CTRL.ON」に設定後、「<HDMI>」メニューの「STBY.THRU」を「AUTO」または「ON」に設定してください。
- HDMI機器制御機能が搭載されたソニー製以外の機器をつないでいる場合は、AMP MENUを押して、表示窓の「<HDMI>」メニューの「CTRL.HDMI」を「CTRL.ON」に設定してください。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

テレビ画面にホームメニューが表示されない

- アンプとテレビを接続しているHDMIケーブルをアンプ、テレビ両方から抜き、接続し直してください。
- HOMEを押して、ホームメニューを表示させてください。
- テレビ側の入力が正しく選ばれているか確認してください。アンプを接続しているHDMI入力を選んでください。
- テレビによっては、テレビ画面にホームメニューが表示されるまでに時間がかかることがあります。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

表示窓に表示が出ない

- 本体前面のPURE DIRECTランプが点灯しているときは、本体またはリモコンのPURE DIRECTを押して機能をオフにしてください。
- 本体またはリモコンのDIMMERを押し、表示窓で「BRIGHT」または「DARK」を選んでください。

関連項目

- [原音に忠実な音を楽しむ \[Pure Direct\]](#)
- [表示窓の明るさを調節する](#)

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

FMステレオ放送の受信状態が悪い

- ホームメニューから [Listen] - [FM] を選び、 [FM Mode] を [Mono] に設定してください。
-

関連項目

- [FM放送局の受信モードを選ぶ \[FM Mode\]](#)

マルチチャンネルインテグレートアンブ
STR-DH790

放送局が受信できない

- 放送局の信号が弱いため、自動選局で受信できません。ダイレクト選局モードで周波数を合わせてください。
- プリセット登録された放送局がない、またはプリセット登録した放送局が消去されています（プリセットした放送局をスキャンして受信している場合）。放送局をプリセット登録してください。
- 周波数が表示窓に表示されるまで、DISPLAYをくり返し押してください。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

ペアリングができない

- BLUETOOTH機器をアンプに近付けてください。
- 他のBLUETOOTH機器がアンプの周りがあると、ペアリングができないことがあります。この場合は、他のBLUETOOTH機器の電源を切ってください。
- ペアリング操作の過程でパスキーの入力を求められたときは、[0000]を入力してください。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

BLUETOOTH接続ができない

- 接続しようとしているBLUETOOTH機器がA2DPプロファイルに対応していない場合は、アンプと接続できません。
- 本体前面のBLUETOOTHを押してください。前回接続したBLUETOOTH機器につながります。
- BLUETOOTH機器のBLUETOOTH機能をオンにしてください。
- BLUETOOTH機器側から接続を確立してください。
- ペ어링登録情報が消去されています。もう一度ペ어링を行ってください。
- アンプとBLUETOOTH機器が接続しているときは、他のBLUETOOTH機器でアンプは検出されません。
- いったんBLUETOOTH機器のペ어링登録情報を消去し、もう一度ペ어링を行ってください。


マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

音が飛んだり変動したりする、または接続が切れる

- BLUETOOTH機器をアンプに近付けてください。
- アンプとBLUETOOTH機器の間に障害物がある場合は、障害物を移動させるか、アンプとBLUETOOTH機器のいずれかまたは両方を障害物の影響がない位置に移動してください。
- 無線LAN、他のBLUETOOTH機器、電子レンジのような電磁波を放出する機器がアンプの近くにある場合は、それらを遠ざけてください。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

BLUETOOTH機器からの音声が聞こえない

- まずBLUETOOTH機器の音量を上げてから、リモコンの +（または本体前面のMASTER VOLUMEつまみ）を使って音量を調節してください。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

ハム音またはノイズがひどい

- アンプとBLUETOOTH機器の間に障害物がある場合は、障害物を移動させるか、アンプとBLUETOOTH機器のいずれかまたは両方を障害物の影響がない位置に移動してください。
- 無線LAN、他のBLUETOOTH機器、電子レンジのような電磁波を放出する機器がアンプの近くにある場合は、それらを遠ざけてください。
- つないだBLUETOOTH機器の音量を下げてください。

HDMI機器制御機能が正しく働かない

- アンプと各機器とのHDMI接続を確認してください。詳しくは、付属の取扱説明書を参照してください。
- テレビのHDMI機器制御機能を有効にしてください。詳しくは、テレビの取扱説明書を参照してください。
- しばらく待ってから操作してください。アンプの電源コードを抜き差ししたときは、操作が可能になるまで時間がかかります。15秒以上待ってから操作してください。
- HDMIケーブルを抜いた、または接続を変えた場合は、「[“ブラビアリンク”の準備をする](#)」の手順をくり返してください。
- テレビが本体後面のHDMI TV OUT端子に接続されているか確認してください。
- AMP MENUを押して、表示窓の「<HDMI>」メニューの「CTRL.HDMI」を「CTRL ON」に設定してください。
- アンプに接続した機器がHDMI機器制御機能に対応していることを確認してください。
- 接続した機器のHDMI機器制御機能を有効にしてください。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。
- HDMI機器制御機能で制御できる機器の種類と数は、HDMI CEC規格で以下のとおり制限されています。
 - 録画機器（ブルーレイディスクレコーダー、DVDレコーダーなど）：3台まで
 - 再生機器（ブルーレイディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなど）：3台まで
 - チューナー関連機器：4台まで（本機がそのうちの1台を使用します。）
 - オーディオシステム（AVアンプ/ヘッドホン）：1台まで（本機が使用します。）

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790


リモコンで操作できない

- リモコンを本体前面のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンとアンプの間にある障害物を取り除いてください。
- リモコンの乾電池が消耗している場合は、2本とも新しい乾電池に交換してください。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

お買い上げ時の設定に戻す

以下の手順に従って、記憶させたすべての設定を消去してお買い上げ時の設定に戻すことができます。
この操作は、必ず本体のボタンを使って行ってください。

- 1 電源を切る。
- 2 本体前面の  (電源) を5秒間押したままにする。
表示窓にしばらく「CLEARING」が点滅したあと、表示が「CLEARED *」に変わります。

ご注意

- メモリーが完全に消去されるのに数分かかることがあります。表示窓に「CLEARED *」が表示されるまで、電源を切らないでください。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

音場（サウンドフィールド）をお買い上げ時の設定に戻す

以下の操作は、必ず本体のボタンを使って行ってください。

1 電源を切る。

2 MUSICを押しながら （電源）を押す。

「S.F. CLEAR」が表示窓に表示され、すべての音場（サウンドフィールド）が初期設定状態に戻ります。

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

カスタマーサポートウェブサイト

本機の最新情報について詳しくは、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/audio/>

マルチチャンネルインテグレートアンプ
STR-DH790

商標について

- 本機はドルビー（*1）デジタルサラウンド、DTS（*2）デジタルサラウンドシステムを搭載しています。
 - *1 ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Atmos、Dolby Audio、Dolby Vision、“AAC”ロゴ及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
 - *2 DTSの特許については <http://patents.dts.com> をご覧ください。DTS社からの実施権に基づき製造されています。DTS、シンボル、DTSとシンボルの組み合わせ、DTS:XおよびDTS:Xロゴは米国およびその他の国におけるDTS社の登録商標または商標です。
© DTS, Inc. All Rights Reserved.
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- “ブラビアリンク” および “BRAVIA Link” ロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- “PlayStation”は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの登録商標または商標です。
- “ウォークマン®”、“WALKMAN®”、“WALKMAN®”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- BLUETOOTH®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ソニー株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- その他すべての商標および登録商標は各社の所有物です。本文中では、™、®マークは明記していません。